(一) 大正六年七月十九日 THE KEIJO NIPPO (木曜日) (明治三十九年八月十日第三種郵便物認可) (年中無休刊 祭日翌日休刊)

京城日報

十八日夕刊

發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介 京城太平通一丁目 發行所 合名會社 京城日報社

總督訓示 第一部長會議に於て

茲に面制を發布し本年十月一日より之を施行せむとす惟ふに面制の必要を感じたるは一日の故に非らず、然れども之が實施に先ち豫め其の準備を整ふるの急務なるを認め爾來面事務の整理改善に努むる處あり以て今日に及べり今や各位の努力に依り面事務の整備漸く見る可く制度制定の必要亦切實を加ふるものあり茲に面制の發布を見るに至れり

面制は朝鮮の時勢民度と舊慣古例とに鑑み制定したる特殊の法制にして内地町村制の如く自治主義に準據したるものとは全然體様を異にせり、故に之が解釋運用に當りては濫りに他の例に倣はず、法制の主趣を洞察し以て實情に適應せしめむことを期す可し

面に事業能力を認めたるは地方開發の促進に資せんとするものなりと雖民度の現狀は漸く治産の途を得るに止まり未だ疲弊の域を脱せず、假に各種の事業を創始し面民の負擔を劇増するが如きは大に考慮せざるべからず、故に面制の實施に當りては努めて面民の負擔を增加せずして地方の改善進歩に資せむことを期し主として應急的方法に依り經營しつゝある各種の事業を面に統一整理し將來民度の向上に伴ひ徐に其の施設を擴充するの方針を採る可し

又輓近農事の改良發達に伴ひ水利事業勃興の機運に向ひ組合の設立を計畫するもの增加せり然れども水利組合に關する法規は遠く舊韓國政府時代の制定に係り規定不備にして運用上遺憾尠からず因て新に水利組合令を發布し時勢に適切なる組合制度を確立し水利事業の發達を期せむとす法は死物にして活用は人に在り、法制完備せりと雖も其の運用如何に依り地方民の利害に關係する處大なるのみならず延て國運の消長に影響なしとせず、各位は制度施行の當初に於て其の針路を明にし且運用の途を愼み以て所期に背かざらむことを要す新制施行上必要なる細目に就きては別に指示する所あるを以て各位は此の機會に於て十分なる講究を遂げ實施上萬遺憾なきを期す可し

紛糾せる支那政局

▲分配金は正金から

段芝貴氏は張勳氏の兵を解散せしむるに際し横濱正金銀行より三萬圓を借入れ彼等の間に分配せり(北京特電)

▲黎氏佛病院に遁入す

黎元洪氏は十六日又復佛國病院に遁げ込みたり(北京特電)

▲狂兵黎氏に發砲す 黎氏の恐怖=佛公使館に入る

東廠胡同の私邸に在れる黎元洪氏の百名内外の護衛兵中一名の兵卒十六日拂曉猝かに發狂せるものゝ如く黎氏の寢室に向ひ頻りに發砲せしかば他の兵卒は大擧發狂兵を捕らへて撲殺し黎氏には幸ひ事無きを得たるも此の結果黎氏の恐怖と不安は極度に達し且つ糖尿病を完全に治する能はざるより黎氏は主治醫たる小菅軍醫正の奬めにより北京なる日本人の病院に入院せんとせるも同病院は公使館區域外にあるを以つて遂に佛國病院に入院せんとしたり去れど同病院には張勳氏の參謀萬繩栻氏の入院せるあるを以て甚だ面白からずとし寧ろ黎氏の子息の避難せる佛國公使館に入るの決心を爲すに至れり然し佛國公使館にては此點に關し聊か躊躇せるもの丶如く我林公使に相談する處ありしが林公使も佛國公使館に入るを同意したる爲め遂に黎氏は佛國公使館に入れり黎氏に發砲せる兵卒の眞意は不明なれど張勳氏と何等かの關係あるやも知り難く又黎氏は遠からず日英米何れにか遊ぶべしと(北京特電)

▲黎氏佛公使館入り 別報

林公使が黎元洪氏を日本公使館に收容するや頗る不安にして黎元洪氏の主治醫たる佛人ブシイル氏の如きも我小菅軍醫正が立會ひ診斷を求めたるに對し憤慨して拒絶せる事實あり今回もブシイル氏が黎元洪氏に說き病氣治療を名として佛國病院に伴はんとし轉じて佛國公使館に伴ひたるものゝ如し(北京特電)

▲徐世昌氏入京目的

徐世昌氏の入京は政局調停の爲めにして決して表面に起たずと稱し居れり(北京特電)

▲時局一進展か

徐世昌氏は既電の如く十六日朝入京せるが之に依り時局の進展あるべしと期待さる(北京特電)

▲黎氏青島に移住か

黎元洪氏は北京に居住するを欲せず青島に移住せんとし我林公使に保護方を依頼し來れり(北京特電)

●關税實收增加 大藏省發表

大藏省の發表によれば六月中の關税實收三百十四萬八千五百七十五圓にして前年同期に對比し卅三萬六千九百九十五圓の增收を示せり(東京電報)

●京都市債認可

京都市債一千七百五十萬圓は今回當局の認可を得たり(大阪特電)

●船價天井知らず

船價昇騰を續け一噸千圓に達するは前途遠からざるべし(大阪特電)

●石塚氏東京發

石塚東拓總裁は十七日夜九時東京出發任の途に就けるが途中京都並に大阪に立寄る筈(東京特電)

●關野博士通過

關野工學博士は十八日朝釜山に來着、六時四十分發の連絡船壹岐丸にて歸東の途に就けり(釜山特電)

○米國將校通過

比律賓駐劄米國守備軍隊に交代の爲め支那駐在同國軍隊より派遣せる米國將校及び家族一行六十名は十八日午後七時着列車にて來釜同八時三十分出港關釜連絡船新羅丸にて下の關に向ひ同地より長崎に到り米國御用船に乘船任地馬尼拉に赴く筈なり(釜山特電)

◎第一部長會同(第一日)

第一部長會同第一日は十八日午前八時三十分より總督府第二會議室に開催各道第一部長は勿論總督府側よりは山縣政務總監以下各部長官局長其他關係各部局課の高等官等參列宇佐美内務部長官統裁の下に直ちに日程に入り別項記載の如く長谷川總督の訓示並に指示あり了つて諮問事項の答申に移り正午散會せり

◎辭令

出府を仰す 平壤鑛業所長 海軍少將 水谷千萬吉

◎内地朝鮮間の電報大遲延 復舊迄には二週間

佐世保大連間の海底電信線十八日午前三時より障碍不通となりしため昨報の如く右海底線により送受する滿洲大石橋以南と内地間發著の電報約二千五百通は全部朝鮮經由となりしが右通數は東京京城線、大阪京城線、釜山下關の三線に配分送受しつゝあるも何分右三線は平時發著する内地と朝鮮並に大石橋以北の滿洲間に於ける電報は一日五千通强を算し之れのみにて三電線は比較的多忙なるに突として更に又二千五百通乃ち五割の電報增加したるにて其の繁忙は名狀すべからざるものあり從つて內地と朝鮮及び滿洲間の電報は大遲延を來しつゝあり尙ほ佐世保大連線は重要なる海底線に付遞信局にても及ぶ限り急速に其の修理を企圖しつゝあれど未だ修理船を廻航せしむるに至らず從つて其の修理出來までには約二週日以上を要するものと見るの外なしと云ふ

◎金剛山保勝會總裁

金剛山保勝會にては嘗に總裁李堈公殿下薨去に付今回山縣政務總監を總裁に推戴したりと

◎持地長官發期

持地遞信局長官は二十四日出發伊藤事務官補外書記一名を隨へ南鮮遞信事務視察のため出張する由なるが往復約二週間なり

◎石塚總裁東京發

東上中の石塚東拓總裁は吉田參事を隨へ十七日午後東京驛發列車にて歸鮮の途に就きたるが途中一泊の筈に付其の歸任は廿日となるべし又松平理事は十八日午後九時東京を出發すべく多分總裁と同行歸鮮の事とならん

◎井上鮮銀營業課長歸任

群山地方に出張中なりし井上鮮銀營業課長は十七日夜歸任せり

◎水利灌漑と朝鮮の米作 新水利組合令の發布に就て 川上東洋拓殖會社理事談

朝鮮の水利組合令は制令を以て十七日に發布され十月一日より實施の事となつた、質を云ふと朝鮮現行の水利組合條例は

▲韓國時代の制定にかゝるもので時世の變遷進歩著しき今日より見れば不備の點がないでもない、其の不備を補ない新に朝鮮の現在及び將來に適應すべき新令が出たのは結構な事だ、乃ち十月一日以後認可さるゝ水利組合は法人と認められ其の體形は立派に完全に整ふ事となつた、そこで會社の金融部の如き從來朝鮮の水利事業には相當資金の融通を行つてはゐるが、今後新令によつて出來た水利組合に對する資金の貸附は一層便利に安心に出來るし、組合を組織して資金を貸らうとする方も餘程借りよくなつたのである唯組合令及び施行規則は頗る長文で又其の組織が複雜して居る從つて今日の程度の朝鮮農民には其の組合の組織を面倒がつたり又理解も容易でない點がありはせぬかとも杞憂される然し此點は當局及び先覺者が十分配意指導して遺憾なからん事を期せねばなるまい云ふ迄もなく朝鮮現今の農事を改良するには

▲水利灌漑 排水事業の施設が最も急務である、今日朝鮮の水田で改良米種の普及可能な面積には約八割方改良米種が植付けられてゐる、會社の收納する小作米の如き其の六割は改良米種である、然るに其の改良米種の成績は如何と云ふに成程植付の初年並に二年目位までは土地に珍しいからよく出來る然し三年目位から段々惡くなる、四年五年と經つ內に多くは改良米が改惡米に變ずる、初め籾一石百八十斤もあつたのに百二三十斤に落ちると云ふ有樣である、それは何故かと云ふに金肥をやらぬからである、何故金肥をやらぬかと云へば多く水田の灌漑設備が出來てゐないから、それ丈けの金肥を投じても無駄になるのを虞れるからである、これでは改良米種を普及さしても餘り有難くないのである、かゝる缺陷は水利事業の隆々興起による米作の安心から大に除去し得られやうではない乎、それに朝鮮の全水田百餘萬町の中天水にのみ賴つて補附をなす面積が

▲七割以上に達すると云ふ事は實に寒心に堪へぬ事實で其の相當な設備は半島農産上斷じて忽に出來ぬ大問題である、幸ひ完全な新水利組合令も發布され相當の權利も認められたから今後採算だに出來るならば各地に其の計劃のドシ／＼起らん事を切望する次第である、素より會社も相當の方法により今後水利事業の經營には及ぶ限りの努力を盡し又各地の計劃に對しては援助と好意を吝まぬ考へでゐる云々

◎京織財務主任會議

土地測量事務講習會に出席せる京畿道廣州郡外八郡の財務係主任の入京を機とし京畿道にては十八日午前八時より構內宣化堂に於て財務主任會議を催し財務事務に關し種々協議する所ありたり

◎東拓の道部長招待

東洋拓殖會社にては會議のため入京中の各道第一部長を主賓とし十九日夜千代本に晚餐會を開く由なるが宇佐美內務部長官 小原農商工部長官外數氏も亦列席すべく會社よりは川上高瀨兩理事清水秘書役外各課長等列座する由

◎松永長官出張

松永京畿道長官は小松事務官を隨へ抱川郡管內に於ける郡治事務狀況及び共同販賣狀況視察の爲め十八日朝出張せり卽日歸任の筈

◎三技師送別會

總督府技師より道技師に轉任を命ぜられし八尋、石塚、飯島三技師の送別會は中村、坂出兩技師並に人見理事の發起にて十八日午後七時より朝鮮ホテルに開會二百餘名出席の由なり

◎手押軌道敷設許可 京城

府漢江通十三番地松本勝太郎氏より出願中の成北清津市街より同地停車場に至る手押軌道敷設の件は去る十四日附にて許可せられたりと

◎平安丸廻航披露

朝鮮郵船會社の元山浦鹽線に就航せしむる爲め大阪に於て新造せし平安丸(千五百五十噸)は來る二十三日午前釜山に入港同夜より就航の筈なるに因り同社は同日正午同船內に於て披露宴を開催し釜山官民の重なる人々及び荷主側を招待する由(釜山)

仁川

▲松岡博士來仁 滿鐵經濟調查囑託たる松岡博士は十八日午後二時來仁市內視察の上同日仁川發永登浦に向ふ筈 ▲鹿兒島縣事務官來仁 松本事務官は十八日午前十時來仁熊谷商專校長の案內にて市內視察府廳に於て午餐を喫したる上午後零時四十五分發京城に向へり

大邱

▲嶺慶館の開館期 落成式擧行後陳列棚其他內部の設備中なる物產陳列場嶺慶館は本月中に於て一切の設備完了すべきに就て來る八月一日より開館し一般公衆の觀覽に供すべしと ▲憲兵分隊長交迭 此の程浦項憲兵分隊長に補せられたりし元義州分隊長谷頭憲兵中尉は醴泉分隊長に轉補さるゝこととなり元醴泉憲兵分隊長篠原憲兵中尉は浦項分隊長に轉補されたり ▲鮮南銀行總會期 大邱鮮南銀行に於ては來二十二日午前二時より定期株主總會を催し上半期決算に對する承認及び取締役一名の補缺選擧を行ふべしと ▲常設館新設計畫 大邱には目下活動寫眞常設館として村上町に七星館あるが更に鮮人向專門の活動寫眞常設館として南城町附近に建築すべく計畫中の有力者あり ▲大邱公友會例會 大邱公友會は十八日午後七時より七星町刀水園內詠歸亭に於て例會を催せり ▲大邱魚市場總會 大邱魚菜市場に於ては來る二十七日を以て本年度上半期株主總會を催すべしと

◎普魯西陸相辭職

普魯西陸軍大臣フォン、スタイン將軍は辭職したり(紐育電報)

◎獨亞國交危機切迫

亞爾然丁と獨逸との國交危機に瀕し斷絕の期目睫の間に逼れり(紐育電報)

◎獨議會無期休會 事態頗る重大＝重要會議開催か

伯林よりの報道によれば獨逸帝國議會は議員一同ストライキの擧に出で上下兩議院の重なる委員會にても委員は目下懸案中の政治問題解決迄議事を進めずとの申合せをなせり 獨帝は事の重大なるを見、ヒンデンブルグ元帥並にルーデンドルフ將軍を召還せるが重要會議の開催を見るべし(紐育電報)

▼終に無期休會

獨逸帝國議會は無期休會する事に決す(倫敦電報)

◎芬蘭獨立問題形勢 アムステルダム來電＝社會黨の壓迫＝形勢頗る重大

芬蘭の獨立に關する問題の第三次討議は日曜日芬蘭議會に於て行はれ同日社會黨主催の示威運動あり八時間以內に本議案を可決すべく壓迫を加へたり議會は早晚本問題を通過せしむべしと豫想され居れるが唯憲法上並に法理上の見地より議會の多數は之が採決を喜ばざるべきも若し之を採決せずば革命的行動となるべき形勢にあり尙芬蘭議會は同地在留一般露西亞人に對し人種宗教の區別なき普通選擧權附與に關する議案を可決せり(哈爾賓特電)

〔大田〕

▲南鮮地方の生果 先般來三浪津以北の生果生産狀況を視察して歸來したる人の談を聞くに本年の生果は各地到る處不作なるが最も良好なるは三浪津にして其の原因たる種々あるべきも主として豪雨の被害なきに基因するものなるべし然れども同地方の作付反別は僅少なり大邱方面の苹果は近年線蟲其他の被害尠からざるを而已ならず寒旱害及び豪雨等の被害尠からず例年に比し四割乃至三割減なるべし大田地方に於ては其作付反別約四五十町歩に上るべきも一般の成績より觀測する時は例年作に比し二三割減は免れざるべし尤も葡萄棚は成績不良苹果も亦追々腐爛病等の發生を見るあり單梨に於ては其の結果稍良好なり桃苹果等は何處も相當の出廻り桃は上等物一貫七十錢見當にして需用地は京城、清州、湖南線其の主なるものなり ▲炭疽病發 大田郡內炭洞面、內南面に於て各牛一頭炭疽病に罹り何れも斃死したるを以て其筋に於ては夫々吏員を派し嚴重なる豫防消毒を施したりと ▲經理事務巡視 大田步兵第七十九聯隊附經理主任小寺中佐は清水主計を隨へ十八日より同聯隊管下各分屯隊の經理事務視察の爲め出張せり ▲寶來警部赴任期 今回大田警察署勤務より忠清南道警務部へ榮轉したる警部寶來集之助氏は來る二十日頃出發赴任すべしと

人事消息

▲中央學校(京城)生徒廿六名 十八日松汀里へ
▲同 同廿一名 同新安州へ
▲大阪高商生徒廿七名 十八日朝安東縣へ
▲岡沐淵男 十七日夜沃川より入京
▲齋藤晉作氏(營林廠長) 十七日夜入京渡邊法院長邸へ
▲秦秀作氏(平北一部長) 十七日夜入京龍尾へ
▲齋藤禮三氏(忠北同) 同不知火へ
▲須藤素氏(江原同) 同
▲中村彌六氏(前代議士) 十七日夜內地へ
▲關野博士 同
▲松岡均平氏(法學博士) 十八日仁川視察
▲岩崎廣太郎氏(鐵道局副參事) 十八日夕東上すべし
▲村田素一郎氏(鑛務課長) 十八日朝發東上

食糧缺乏が生んだ禍亂
憂ふべき交戰國の社會問題
航空隊附輜重兵中尉 武田次郎氏談

歐洲視察中に於て著しく感想を惹きたるは各國に於ける社會問題なり開戰以來戰地に出征せしめたる壯丁は何れも殆んど徴集され盡し遂に老幼を選ばず佛露の如きは婦女に至るまで戰地に繰出し各重要の任務に服せしめ居れる狀態に在るを以て

◎生活必需の生産力を減退せしむるのみならず軍需品の補充に使役する勞働者技術者は倍々缺乏不足を告げたる結果物價の騰貴となり勞働賃銀の増給を必要とし然かも戰亂は以來永續して容易に平定の見込附かざるの狀態にある爲め物價は愈よ騰貴せるのみならず漸次缺乏を生じ各政府は專ら此需用を調節せんと計りたるに拘はらず

◎更らに救濟の意義を達すること能はず資本家は此機を利用して益々暴利を收むるに反し勞働者は生活の窮迫益々甚しく現に佛國の如きは既に資本家に對する勞働者の迫害となり賃銀の増給を強要し若し容れざるに於ては罷工同盟を謀り資本家と勞働者の意志の隔離を生じ不穩の行動に出でたる如きは屢々耳にする所なり露國の如きも

◎這般革命の根源に就きて種々の說あるべしと雖も畢竟するに下級民たる勞働者の生活問題が其最たる禍根たりしは疑を容るゝ餘地なきが如し佛國現時の狀態にして今後戰亂の持續する場合は最も早く露國の轍に陷るは免る可からざるべしと觀測せる英國に於ても夙に食糧問題の爲めに爲政者の頭腦を勞せること尠少ならず爲めに未だ

◎露佛の如く甚しき苦境に逢せずと雖も極力此れが救濟の途に腐心し居れるは覆ふ可らざるが如し而して獨逸に於ては奈何と云ふに本問題に就きて開戰以前より之れが研究を遂げ漸次戰爭の永續に伴ひ之れに對應すべき根本政策を採り來れりと云へるが敵國たる同國內の狀態は窺ひ知るに難しと雖も未だ他の想像するが如き窮地に在るべしとは信ずる能はざるの情報を聞けり

◎獨軍が今尚ほ勇敢に戰鬪に努め居れるを目擊して愈よ事實なるべしと首肯するを得べし離ち我聯合各國は斯くの如く內政に就きて社會問題の救濟に腐心し外敵に對しては自國を賭して戰鬪に從はざるべからざる不幸の境遇に憂苦し安堵する暇なき狀態に在るを想ふと共に我日本の現狀に就きて予輩の甚だ衷心に堪へざるものあり

◎今回の歐洲に發生したる禍亂は轉じて我邦の福祉となり工業の隆興、貿易の增進を促し資本主の得たる利純は我國に於て未だ嘗て收めたることなき巨額に達せりと聞けり彼れ資本主は嘗て夢想せざる利益の巨大なるに從ひ生活に有らゆる贅を盡し一夕の供膳に數百圓の金を散し尚其足らざるを憂ひ以て鄕黨に驕るの痴を演せるものあるに反して下級勞働者は

◎物價の騰貴に困り生活難を訴へつゝあり、この慘狀を目睹せる眼を轉じて所謂成金輩の人もなげなる振舞に移せば彼れ等低級の勞働者が心裡に如何なる感を與ふべきや予輩は親しく歐洲各國の實情を視察し來りたる爲め此點に就きて更らに憂ふべき思ひを深くせり殊に我邦は未だ各聯合軍と同樣なる戰時狀態に在るべきに拘はらず戰事圏外に遠かり居る爲め歐洲各國の如き

◎適切に其禍亂を蒙らざるは國家民人共に幸福なるが如しと雖も戰後に於る我國の位置に顧みれば今に於て豫め茲に備ふべき重要なる用意を怠ることを許さゞるものあり今日吾人に示されつゝある歐洲各國の戰爭狀態に目を注げば澡然たらざるを得ず向後の戰爭に就きて前述の如く飛行機、潜水艇の完備充實せるに非らざれば

◎全然勝敗を決し難し否な寧ろ戰爭を爲し能はずと斷言して憚からず、苟しくも特別優秀なる國民性を有して生れ萬國比類を見ざる國體の下に育ちたる我日本人なれば熱誠一番國家に奉ずるの意なかるべからず

▲張勳敗戰の跡

張勳決死の覺悟を以て討逆軍の要求を拒絶せる爲め、遂に市街戰の止むなきに至り七月十二日拂曉四時より砲火を交へ支那の大都北京も修羅場と化し泣き叫ぶ市民の聲は砲聲と合して凄く、激戰の後正午に到り流石頑固の張勳も和蘭陀公使館に逃走し(一說には激戰中の張勳へ自動車を飛して使者を送り『人道上の問題に就き相談あり至急來館を乞ふ』旨傳へ遂に彼れを逃して捕虜とし降服を強要せるも彼れは頑として應ぜざる中に和蘭陀公使は公使館へ張勳附服身命保護を乞ひに來れると通告せりと云ふ)部下四散午後三時死守せる南池子も陷落するに至れり。寫眞(一)は燒けつゝある定武軍本營にして(二)は慘憺たる張勳の居室(三)は張勳軍敗殘の跡にして天幕の穴は砲彈に破られたるものなり

●滿洲産の牛骨

滿洲産牛骨中には馬骨駱駝骨羊の雜骨[illegible]
廻る季節は冬季即ち十月より翌年四月頃なりこれ屠獸數が此季節に多きと[illegible]夏季春季は[illegible]惡臭を放ち取扱に不[illegible]
本品は大正五年中の總輸出額は八萬五千七百九十擔にして之を港別にすれば大連七萬八千二百七十二擔、營[illegible]

[illegible]に直接關係ありし警官新聞記者連の十九日記念會は例年の如く十九日午後正六時より[illegible]にて[illegible]

●紳士風大賊
釜山の旅館其他を荒す

福岡縣京都郡行橋町字宮市三十四番地菊池宮一(三〇)は本月十三日夜著連絡船にて渡釜草梁の知人唐間德造方に滯在せるが十五日釜山驛前にて赤帽頭の草梁兩班金贊用の手荷物鞄洋服其他價格(百圓)を騙取して入質し紳士風を裝ひ大廳町ふじ屋旅館に投宿し十六日同館預り中の伏見稻田組員今津新次郎の皮鞄より衣類雜品を拔き取り十七日鐵道局官吏鈴木謹助と僞名して驛前松本旅館に投宿十八日夜一時半頃埋立地川俣質に件の贓品を入質せんとする處を逮捕せられ同人は明治三十五年以來九州、高野、京釜、安奉南滿各鐵道の機械圖工たりしも大正四年滿鐵を解傭せられたるものにして鋭利なる短刀懷中電燈を所持し居り一見紳士風を裝ひ居れるも重罪ある見込みにて取調中なり(釜山特電)

●列車轉覆
火夫二名重傷

十七日午前四時山陽線小野田驛通過の列車は閉塞線係の不注意の爲め構內留置線に入込み轉覆火夫二名重傷を負ひたり同車は京都下關間直通列車にして乘客多かりしにも拘はらず右の外負傷者なかりしは不幸中の幸ひといふべし(大阪特電)

●皇陵發掘事件

奈良縣下に於て行はれし皇陵發掘事件は十七日大阪控訴院にて開廷、公安を害する虞れありとして傍聽を禁止したり(大阪特電)

●綿糸成金
四百圓臺實現

暴騰に暴騰を重ねつゝある綿絲は十七日終に四百圓臺を實現するに至り多數の綿絲成金を生じたり(大阪特電)

●轢死
內地人男 草梁附近にて

釜山草梁停車場附近の鐵道線路に年齡二十七八歲位の內地人にして商家の番頭らしき男轢死せるを十八日午前六時發見せり遺留品としては柳製の手提に鐵衣、浴衣、現金七十三錢入りの蟇口、銀側時計等あり其の外所持品目錄と見るべき紙片に『この遺留品は慈善事業に寄附を乞ふ、十六日船中にて「デー」「デー」とペンにて書き高橋源藏と微かに讀れる吸取紙あるも住所氏名判明せず屍體は釜山府廳に引渡せり(釜山特電)

●汽船引渡請求
廿萬圓沒收事件

八日大阪相澤造船所にて進水したる幸運丸の注文主中華民國大元公司は東京中村萬之助氏を相手取り大阪地方裁判所へ同船引渡し請求訴訟を提起せり其理由は前記中村氏が船價の折柄契約違反を口實として二十萬圓を沒收したるより大元公司は之を不當なりとして引渡しを迫れるものにて原告側正當なるもの〻如し(大阪特電)

●田村技師斷崖より墜落
頭部に重傷

朝鮮總督府技師にして現鎭南浦久原鑛業會社技師田村英太郎氏は過般來江原道旌善郡に避暑鑛區調査中過つて斷崖より墜落し頭部に縫合四針の重傷を負ひ一時人事不省に陷りたるを應急手當に依り蘇生せしめ鎭南浦出張所より看護婦醫師を急派し不取敢京城に運び來り入院せしむることとなり多分一兩日中南大門着列車にて入京の筈なりと

●通行人の辮髮切斷

南京來電＝十五日南京城內にては通行人の辮髮切斷を斷行せり(大阪特電)

●七年前の情婦殺し犯人

長崎市稻佐町原田源三郎(五〇)は七年前情婦きみを浦鹽にて殺害したる上逃走朝鮮に潜み昨年何喰はぬ顏にて歸鄕したること發覺し今回其筋の手に捕縛されたり(大阪特電)

●連絡船上陸客

十七日午前八時釜山入港さくら丸一二等客 一等(一名)[illegible] 二等 改平、隈良親平、戸塚りい、同滋、高橋槌光、森木清裕、遇發郎、立花定、森博一、甲野くすの、出口文剛、後藤時、後藤暁代、小南民壽、市馬藩助、吉木榮子、新崎常、福田さく、松尾國市、隈國人了エバーデン、阿蘇ケスギ、同夫人 三等(八十名)

●夜間斷水

京城水道は十八日午後八時より翌朝五時まで給水を停止すと

●赤痢

京城黄金町二丁目百六十三番地森平虎男(六つ)は十八日赤痢と確定し▲龍山青葉町三丁目百七番地梁著漢(一三)も十七日赤痢にて入院加療中

◎水彩畫展覽會日延べ

商業會議所樓上に開會中なる丸山晩霞、河合新藏兩畫伯の水彩畫展覽會は十七、十八の二日間なりしも非常の盛會に加へて有志の切なる勸告に依り十九日も引續き開會一般同好者の觀覽を希望する由

◆蔬菜は土附に限る

昨今赤痢腸窒扶斯等の傳染病發生しつゝある京城にては其の豫防上下水又は汚水等にて洗ひたる蔬菜類を販賣する虞れある營業者もあるを以て此の際洗滌蔬菜は斷然販賣せざる樣禁止することとなり京城にては廿二日龍山にても同二十三日以降土附きの儘販賣するやう其々營業者に示達する所あり違反者は相當取締を受くべく飮一般需用者に於ても注意肝要なるべし

●不正警官免職

三橋署の不正警官は七名共免職となれり(大阪特電)

●弓削課長の寄附

學務課長弓削幸太郎氏は先般永眠せられたる長女けい子孃の記念として朝鮮孤兒救養しつゝある龍山漢江浦鎌倉保育園京城支部へ金二百圓を寄附したる由

●虎の兒三頭

全南松浦金山附近に七月十日前後部落の豚を猛獸に拉去さること數度に及び多分虎の巢窟ならんと思はれ居たるが十日夜同地人に告げたれば翌日數名立ち入り附近山中にて虎の子三頭を發見したるも所在不明にて目下虎の所在搜査中なり

●釜山の棧橋火事

十五日午前十一時二十分頃釜山にて工事中の第二棧橋中央部カバーより發火したる見る〳〵中に其場に積み在りたる豆粕に燃移りたるを工事中の監守門脇平海が發見し急を土木局に告げたるより一同馳せ附け消火に努め折柄同棧橋基部埋立地に建築中なる稅關上屋工事に從事中の木下組事務員及び大工等は出火と同時に現場に集まり共々消防に盡力し更に鐵道院、稅關小蒸汽船、消防隊、警官等も續々馳せ附け防火に活動せし結果漸くにして十二時半頃鎭火せるが損害は豆粕約一千圓、カバー約五百圓にて棧橋には何等の損害なかりしと原因取調中

商況

大阪株式

銘柄	拂込額	十七日前場	十七日後場
宇治川水	五〇.〇〇	—	—
京阪電鐵	五〇.〇〇	—	—
東洋紡績	五〇.〇〇	二四〇.五〇	二三六.四〇
合同紡績	五〇.〇〇	九九.五〇	九九.〇〇
鐘淵紡績	五〇.〇〇	二〇五.一〇	二〇八.五〇
同上新株	三七.五〇	一六八.五〇	一五二.九〇
東洋物産	五〇.〇〇	一〇七.〇〇	一〇七.一〇
大阪商船	三五.〇〇	一六五.〇〇	一六七.四〇
日本郵船	五〇.〇〇	一六三.一〇	一六七.〇〇
同上新株	三〇.〇〇	二一三.一〇	—
堂島米穀	五〇.〇〇	二九三.〇〇	二九三.一〇
東京新株	一二.五〇	二〇二.一〇	二〇六.九〇
大阪株式	五〇.〇〇	三五五.一〇	三六七.五〇

大阪三品特電

十八日前場 止

限月	止
七月限	四〇〇.四五
八月限	三九八.〇五
九月限	四〇〇.〇〇
十月限	三九一.二〇
十一月限	三九七.〇五
十二月限	三九八.〇五

大阪期米特電

十八日前場 當限寄付 二二.七〇 中限寄付 二三.四〇 先限寄付 二四.二七

下關期米特電

十八日前場

	當限	中限	先限
寄付	二三.[illegible]	二三.[illegible]	二三.[illegible]
高値	二三.[illegible]	二三.[illegible]	二三.[illegible]
安値	二三.[illegible]	二三.[illegible]	二三.[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]	[illegible]

雜報

●銀四十一片餘 十七日時場に於て銀入電倫敦銀は更に昂騰して四十一片七分の一との新高値を出せり八十

●綿糸布一服 十七日時場に綿糸於て期近四百圓臺に上りし定期綿糸は後場に至り一段人氣沸騰して八限四百十圓四十五錢先限四百二圓三十錢其他各限一齊に四百圓臺の新記錄を作りたるが今前場は米棉四五十錢高限月明糸當限四百圓四十五錢九限四百一圓其他の各限に

三百九十圓臺を報じ前場十一の何れも安く現物は平票十六手三百三十九圓二十四龍レ一十一圓二十錢雙手十一手三以後の入電にて大十錢安なとも見受けらる何れにしても油斷のならぬ相場なり

●粗布細布又値上 粗布三十一號は昨報の如く十六日先の値上げを行ひたるが翌十七日の大阪市場は前場に於て定期綿糸は六限(?)揃ひ一躍して百圓臺となり同値に現物又突飛 粗布二號先物十一圓六十五錢の高値を附けたるより粗布十二割ふ一圓方値上げ表すると同時に細布二十五錢方の引上げを行ひたり市中の成行きは三二の二百八十五圓臺なれば問屋筋の間に相當賞物は伏在せるが如き手二百圓の出現を豫期し九十圓以下にて手放す向なしといふ

●粟産地安大豆高 横出不便輸入不引合のため滿洲粟は取引杜絶に勝なるが昨夕某所宛久しぶりに産地相場入電あり四平街四圓 二十五錢 海城四圓三十五錢 昌圖四圓三十八錢 四圓二十錢 に比ぶれば各四十八錢の高値にして五十八錢方の下落に當る輸送は依然不便なるを以て三月積出しの品六月末に到りて漸く內地に廻著せる例もあり荷渡しの極めて取引なる難きにより自然敬遠さるゝ

又復騰貴 大豆昨報後開原八月物一躍して六圓四十二錢となる

●鉱力板百圓 鉱力板は相場の騰貴に連れ需要次第に減退し近頃になつては時折職居筋の小口注文あ[illegible]

●平板新高値 (綿板暴騰の影響) 綿布暴騰は遂に平板にも及ぼして最近平板は漸次に二十錢方を引上げ今昨三

[illegible]る位にて賣行き頗る閑散なる爲め市中相場も常に大阪値段の以下を保ち居りしが最近大阪相場は更に九十圓を報じ香港に於ける原綿輸入困難は前途一段の高値を現出せん模樣にて持品の多からざる高地の割安を許さゞる事となり今回大阪の高騰を機として市中賣値卸百圓丁度となし一躍十餘圓方の大引上げを行ひたり

仁川米豆取引所仲買人 海岸町三丁目 大五仲買店 電三〇九長九二

四圓高となれり浪板も自然之と同時の歩調を逃るべき筈ながら本品は既に値高の爲めに他の代用品を以つて補はれ需要頗る不振なれば兎角氣力乏しく今回も單に強含みといふに止まり依然從來の鑑に居据り居れり

●染料急騰 (産地の買占めにより) 染料は愈々硬化しつゝありしが最近逆に市中値段にも及ぼして各種五圓以上二十圓迄の急騰を告ぐるに到れり買占めの勝利は輸入品の稀薄と內地製品の意外に不成績なるに上ると稱せらるゝが何れにせよ第一流筋連合の大買附に左右さるゝ以上此先き軟化の見込なき唱へにて斯く一齊商況に奔れるものと解せらる就中殊に紅洋紅の類は二十圓方の騰貴半染十五圓黑染五圓上りに盜るが尤も先見越し多くて此兩三月來市中忠善頁附替しつゝあり

●絨仕入物先高 (原料) 洋服地商荷薄唱へに奔騰しつゝある洋服地類は最近又た綿糸の低落によりて愈々其熟度を高め殊に絨入物即ち和製裙物仕入服類の暴息最も荒くして阪地問屋筋にては昨年に比し平均八割高を呼ぶに到れりとの情報ありたれど一般には誇大に失すと嫌あれど先高見越しの注文一時に殺到して値段帶は凶騰を傾じつゝあるより見れば強ち無稽の言にもあらざるべく少くとも最高値六七割に達する品多かるべし而も

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町 仲買店 電話長三六七・三六九 電略(サ)又(ヤマサ)

●需用激增 此の種の物 內地工業の勃興は其仕上景氣は[illegible]きしつゝあれば旋行の引きかへ鮮內は他に一部鑛工業興りて其使用人間に新需用生じたるに止まり一般賃氣定まらればこれ此制高物は依然皆景氣によつて手控中なれば暗の如く內地品切れとならむには高地補充品因難さなり却ち品不足し秋冬の候には更に波瀾生ずべきかとも云ふ

●甲皮輸出好況 (國際) 軍需向皮革類及原皮界は前報の如く今や軍需注文成立の絕留によりて銀行側に於ては之が擔保貸付の整理に著手し初め關係筋業者をして戰々兢々たらしめつゝありて軍需向以外の皮革類にも漸次影響を及ぼさん模樣なり甲皮類はキッドの輸入相當行はれ和製ボックスも其後製産の增加したると原皮價格の低落に凡て軟化に傾きつゝありと雖も現下に於ては尚影響大ならず一面には一時輸出杜絶せし哈爾賓方面は從來の滯荷一掃されし模樣にて昨今荐りに甲皮類の注文當地に入込み既に相當の額に上り昨今輸送せられしもの激減したりといへば今後市中在品は同業者の蒙むる影響は輕微なるべしと

●醬油上惱む 內地産醬油は原料高と容器高に加ふるに世上の好景氣に需要又多く關東關西共他各地にては漸次製品價格の引上げを行ひ關東物龜甲萬の如きは夙くに東京渡し斗樽四圓を一割五分增しに其他何れも一割方の値上げを觀じ目下の産地相場よりする時は市中値は龜甲萬の五圓內外に相當す

京城正米

[illegible]べし此の事なるが現今鎮安當時の持越品ある一面には鮮內産は此處昨年末に於ける一割上げを實行する位に止め販路の開拓上內地産に對抗せんとしつゝある爲め東西各品共に產地相場に伴ふ値上げも行ひ難く今日の處龜甲萬にて四圓乃至四圓一二十錢とヒゲタの四圓處を維持し居れり何れは今少し値上げを爲されば引合はざるも之に對する鮮內産が三圓より三圓一二十錢といふ見當なれば內地産も今後の値上げ程度に付ては一寸苦心の模樣なり

期米一寸好勢に向ひ買物依然として少なきも好顯ご精米口の見送りに市況は穀味を帶びたる値持合ひ居れり

京城雜穀

△滿洲粟、市中二十錢方引き縮りて十三圓二十五錢處
太郎人間の需用旺んなるも依然輸入あり値も保合へり
▲大麥 桑きに三千叺の滿洲輸出行はれし硬化せるに郷て市中出廻り少く稍滿例年ならば最早新物出廻りある筈なれども今年は地方晩び込み早さと最近北部豪雨に取引頗る遅れした
△小麥 京城安の地方高なり市中値め一層出物少く氣配手堅し
△大豆 龍山物二十錢處にて產地唱へ値さ同じく
△小豆 黄江出廻り増加して後々騰九匙二十一圓二十錢處
△小豆 內地大崩落の餘波を受けて移出向き大毛物は下落したれど中玉以下は依然米高に支へて保合へり

仁川海岸町三丁目 仁川米豆取引所仲買人 大仲買店 電話長九〇五 八三二番

南大門の廻穀

平澤玄米一六三叺 平康大豆二九叺 大先黒穀一〇ヵ叺 仁川小豆二八叺 仁川西貢米五〇袋

釜山穀物(十七日)

▲正米(保合) 出廻品も小口乍ら郷々ある事とて當市場賣り物さ共に相當あり依然して本邦大阪定期米は漸落歩調を呈し在庫品の賣りも十二錢と廿四圓閣門打破され寄先三圓八十二錢との報あり今市場買思人の鵜退き米口も本朝は一向買手を染めず又買附けを促さんとするも定期安と共に附値至極安附値され共各持米筋側は大概方値の品物のみなれば賣り放す能はず双方共睨合の商狀見送りのまゝ午前中見るべき手合なし
△新小麥 慶陽産新小麥當地前田商店に入荷あり九圓八十錢にて共谷倉庫同野商店へ初手合せ出來たり
鎭出來高 米八五九 一一七四 白一九〇 小麥一二 大豆一三

生魚市場

乃丸市場建値左の如し タイ三〇、サワラ一四、スヽキ一九 ヒラツ七、アジ一九、オルメ一〇、二 ベ九、アナビ三六、アユ六〇小ヤノ八
◎釜山水產市場(十七日) 近海漁獲多からず本日は方魚津及び背山島より鰛多數入荷ありたる爲め市場稍や賑へり而してサバ一尾大三錢小二錢四厘に賣捌けり 入船數百二十九隻
△タイ十二圓△大フカ四圓△小フカ二圓△アビ十八圓△セヲメ六圓五十錢△エビ二十五錢△イセエ三十一圓△タイ六圓△コノシロ六圓△ケチ四圓△スキ十三圓△ハモ七圓△ア

確實 (定期米賣買委託) 廣澤正太郎 仁川海岸町 取引所仲買人
迅速 (電話大第六〇番 一六三二番)

▲仁川期米
▲十八日前場(強硬)
天大上放れ 七錢高の寄付と[illegible]
▲兵庫前後二三圓五十錢[illegible]二十四圓三十六錢[illegible]前日より[illegible]買物多くザラ〳〵一歩八錢と拂ひ[illegible]に辞付一歩八錢と下追ひたるが押目は又買物多く再び八錢と跳れ[illegible]

市場零聞

▲依然強硬 (十八日前場常中米不申) 返しと七錢の成行に依然强硬にて[illegible]
▲先限 ㊀二十四圓十七錢八錢七錢六錢七錢五錢六錢七錢六錢五錢六錢㊀十六錢五錢四錢㊀十四錢三錢二錢一錢㊀二錢三錢㊀十三錢三錢五錢六錢五錢㊁十五錢六錢七錢八錢七錢六錢七錢[illegible]

▲依然強硬 (昨夜來先限は天候の好變) 夜半降雨今朝快晴となりたるも時局關係横行氣溫高く蒸し暑し大阪の上放れを受けて二十四圓十七錢と上寄に始まり八錢と跳ねたるが今筋の持て賣直し來りたると㊀全㊀㊁㊂其他より利喰に新規に賣物多くずり〳〵一錢と押したるも㊀日今㊇㊃全共他より買物多く八錢と返し七錢と散るを告げたり市況は正米の依然强硬なると大阪の依然大上放れを報じたるも一方の賣直しに天へたるも一面米より割安大阪より大下鞘なるより押目は賣物多く依然硬なる[illegible]

▲存外買物多く 押目行を示したり不知今後の變動如何あるべき

▲俄然跳返す 大阪の成行は昨夜來二十四圓〇二錢あり二十三圓九十一錢と不勢の止を報じたるが今朝俄然二十四圓二十七錢と實に三十六丁大に放れを報じたるを見れば何か大なる原因の存するなきなきかと然るに當地は意外の大上放れに反安を意思したるもの存外押[illegible]

▲鞘又復擴大 (大阪に高値となりたる爲め當期安値にて)四百十丁 物ある者ならん大阪の成行地場正米は同時に高値には賣物多さは[illegible]形勢である 依の情勢より見て決して油斷のならぬ

▲正期米鞘寄せ 正米より一圓乃至一圓五十錢の上鞘を買ひ居りたる人氣も時々の觀測相場の高値なるより人氣は兎角賈惡ひなる大阪の暴騰にも存外附随せず停びみ居れり一圓正米界の情勢は每報の如く定期の暴落には一向影響せず高値保合にて安値は各方面より買狙ひありしが今市場に於て商談行はれ居らひあり昨今市場に於て案外形勢なる者あり

▲十九圓八、九十錢(標準米の價値は)相場より見る時は十九圓八、九十錢なるとの事なるに定期先限は今前場の十七錢位に二十四圓三十四十錢の買人物に偏し居るかを窺知するに足る者あり思惑關係に[illegible]

▲定期は人氣の作用と仕手の關係に依るものならんも最も八月限は大天災期の際月なると同時に揚據期の米の一方に偏し居る[illegible]の一方に斯る割安を叫き居るものならんある者なるに斯る割安を叫き居るものならん一朝大なる反動大なるものあらん併し買思惑起らざるにもあらざるにもならん併し買思惑起らんかあるならん飲派は正米の割高を云樣

▲今や內地正米と出合の程度に在るに於て正米の割安を唱ふる者なし反つて期米の割安を思はしむる者ありが反動米は今後大に注目するの要あらん

▲㊇ 同店の賣三千餘石賣三千餘石
▲㊉ 同店の賣七千餘石買三千餘石
▲㊀ 同店の賣三千餘石買五千餘石
▲㊁ 同店の賣四千餘石買六千餘石
▲㊂ 同店の賣四千餘石買三千餘石
▲㊃ 同店の賣四千餘石買三千餘石
▲㊄ 同店の賣三千餘石買三千餘石
▲㊅ 同店の賣千餘石買二千餘石
▲㊆ 同店の賣千餘石買一千餘石
▲㊈ 同店の賣[illegible]四五百石

仁川米豆取引所
十八日の九月限

前場	
寄付	二十一圓十七錢
止め	二十一圓十七錢
高値	二十一圓十八錢
安値	二十一圓十一錢
出來高	一萬九千石

平均値段	
一節	二十一圓十六錢
二節	二十一圓十六錢
三節	二十一圓十三錢
四節	二十一圓十五錢
五節	二十一圓十六錢

	賣買取組高	前日と比較
七月限	一萬二千八百五十石	[illegible]
八月限	二萬四千二百石	[illegible]
九月限	三萬三千五十石	[illegible]
十七日後場	一九〇〇九 一九〇〇九 九九六六九	一一二一八 一二二二一

仁川期米
十八日前場 (强硬)

大阪天候晴 [illegible]

天氣 晴但し驟雨 (十八日午前六時 十九日午後六時迄) [illegible]

にして事天は其帳大所なり主要產地は北滿にては哈爾賓、吉林地方南滿にては鄭家屯、四平街、法庫門、營口、安東、新民等にして其最も多く出……は百斤四十錢内外なるも運賃比較的高き爲め大連に來る時は原價の四倍即ち一圓六十錢内外となるを常とす……擔なりき（大連）

◎十九日記念會　去る明治四十年七月京城政變の際十九日の暴動……

◎學校長の轉任　京城鍾路普通學校長鈴木忠介氏は今回龍山元町尋常高等小學校長に共後任としては水原公立普通學校長……利氏轉任を命ぜられしが淵上氏は已に赴任せり

溪間の四時間　瞬間の其の思ひ出

鎮海要港部司令官　東郷吉太郎氏談

鎮海要港部司令官海軍少將東郷吉太郎氏は去月二十日馬山より自動車に乗じ晉州に赴くの途中……院北峠に於て不幸自動車顛落の爲め負傷し鎮海海軍病院に於て療養中の處稍々快方に向ひたるを以て鹿兒島市山の口町の自邸に歸郷すべく夫人同伴十五日午後七時鎮海發列車にて釜山着同八時三十分出港の聯絡船さくら丸に乗船せられたるを見送りたる記者に對し自動車顛落當時の状況より……を語られたるもの左の如し

大正六年六月二十日午後四時半頃……院北峠にかゝれば右には峨々たる峰嶺頭上に聳立し左には斷崖絶壁の深谷を眼下に瞰視し唯一條の細道迂迤として曲折し山を巡り谷を避け蛇行の状を爲す若し夫れ行路の人一步を過たば溪谷千仞の底に落つるの危險あり況んや自動車の通行に於てをや右に巡り左に轉じ幾度か同じ操作を繰返しつゝ狹路を辿り行く程に如何なる

▲天魔の所業にや　右に折るべき吾人の乗車は驀然として前程の深谷に突進せんとすハツと見し間ぞ即ち是れ死に入るの門なりしぞも此瞬間に於ては死生の念を脱却したる枯禪の如く何の思慮すべき途もあらばこそ唯無意識に死出の旅途に就きしこそ無慘なる直ちに身は前方に顛倒するを覺ゆれも除り激しき衝撃を受けざるに依りまづ好い按配と意の發動を認めたるは是れ人生本來の面目にしてかゝる瞬時の間にも人は生命の惜しきを感ずるものと見ゆ忽ち心氣已に定まり身は地上に拋擲されたるを覺ゆれば頭は外套に蔽はれ唯

▲胸部に呼吸も絶ゆ　許りの苦痛を感ずるのみまづ外套を脱せんとして頸部の鈕を脱づさんとしつゝありしに柵町主計長普門副官走り來て我れを介抱し且つ外套を脱せしめたり茲に二人の生命の恙なきをも知り得て其よろこび限りなく覆はれたる外套を去りて冥闇裡より再び天日を見ることを得て四圍の情況を觀るに我が身は溪谷の中腹に於て十二三間の下に倒れ

▲自動車は二十間　許の所にて松樹の根に留まりて破碎し負傷者は諸所に散在し流血淋漓悲しげに呻吟するの有樣は餘り體裁のよきものにあらじ余を距る數歩の上に可憐の少女は暫し悲鳴をあげつゝありしが程經て斃絶ね其他負傷者の慘狀目も當てられぬ爲體なり熟々余が墜落の經路を察するに最初激衝を受けず先づ好い按配と感ぜしは其初期の瞬間なるべし而して其後左

▲肋骨を何れにて　挫きしや左臀部の打撲傷は何れの時期に起りしや右大腿部の筋肉の消裂は何れにて打ちしや其間の消息は如何に考察するも念頭に之を喚起する事能はざるを思へば余は初期の衝擊に胸部を打ち地上に拋擲さるゝ迄氣絶の状態にありしものと斷ぜざるを得ず然れども其時間を云へば僅かに一瞬間の頃を出でざる瞬間のみ斯くて負傷者の状況を見るに同行者八人の

▲内少女一人絶命　したる外他は皆生命には異状なきが如し殊に輕傷者は他の負傷者の手當を爲し又は通信の方法を講ずる等夫々に處して働く忙しき状態なり又其間の溪間の地勢を見るに山路より三四間の下に石垣あり之れより急斜面にして切り石を捨てたるところ十間内外にして其下邊の谷底迄には猶ほ二十間餘もあるべし兩側は隆起したる小松原にして谷の上は水田なるべく其間ふに一條の徑路あり

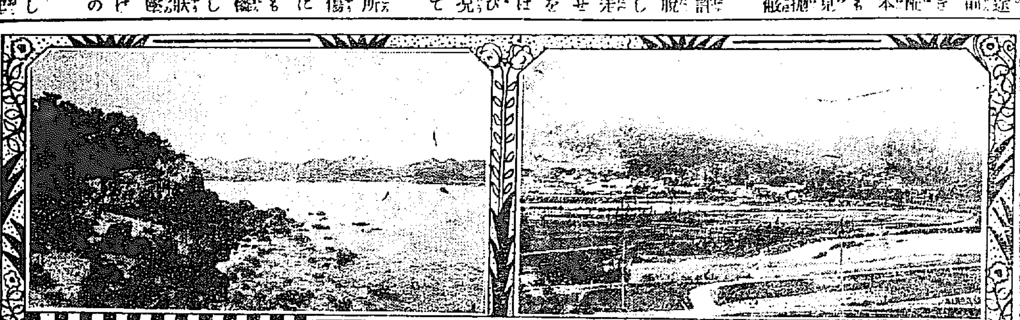
▲通行の鮮人歩を　留めて遙かに此慘狀を仰視しつゝあり顧みて我服裝如何と見てあれば土に塗れ血に塗れ肩衣は破れ上衣を開きければ竪脅の度を失し見る樣もなき爲體になり然かも唯胸間に光輝

▲燦然たる大勳章の輝く　を見ては轉た恐懼の念に堪へず直ちに之を撤して收納せしむ予は此時立たんと欲して起つこと能はず左の腰は全く無感覺にして意の如くならず切り石の上に放擲されし事なれば兩手と右足にて幸ふじて三四尺下方に位置を移し適宜の座を占むることを得たり予は常に確信す精神は身體に對し優越權を有し精神は身體を支配し之れを使用するものなりと然るに今や心之れを欲するも腰立たず然かも腰碎けたるにあらず足折れたるにあらず而して起つこと能はざるは何ぞや精神と身體は

▲融合一體のもの　にして離して存在すべきものにあらずとは云へ何ぞ夫れ無氣力の甚しきや斯る生の所信を以て自我を叱するも予は尚ほ之に起つこと能はず然れども予は惟ふ之れ境遇の然らしむる所のみ若し此際劍を以て君に迫るものあらば

▲我は劍を採つて　此起たざるの腰を起たしめたるを疑はず是れ又物質的身體の損傷の程度如何に依るべきこととなれども場合の如何に依り起ち得るべきものなるを信ずるものなり撓きに悲鳴を上げたる可憐の少女一は斷絶れて最早今世の人にあらず嗚呼無慘なりと云ふ可し八人頭を並べて死地に飛び込み眞の

▲死の御闇は唯一本あり　しのみ然かも此の薨死たる少女が此一本の闇を引きたるこそ不幸と云ふも伸々愚なり若し又死の御闇が二本も三本もありて彼の可憐なる少女と共に石を枕にして死出の道伴れをなしたりとせんか不名譽の最後も亦極まれりといふべし誰か云ふ鴻毛泰山一死同じく死は固より一なりと雖も要するに重んずべきは其死處を得たるに在り即ち其義なれば泰山よりも重き所以なり……七十隨死所を求むるのみと吾人は一死を頭上に置き常に此死所を求めつゝあり然るに今此處に不慮の死を遂げたらんには庭上の落葉に變りて如何許りぞや心窃かに我が武運の强かりしを慶びたり（未完）



東萊海雲臺　探凉會計畫規定

◇廿八日夜行出發＝卅一日朝九時歸著
◇會費僅に十二圓＝一切の費用を支辨

◇日時　七月廿八日夜行列車にて出發南下三十一日午前九時南大門驛に歸著

◇會費　會費金拾貳圓汽車賃、宿泊料、食事費、電車賃、園遊會費等一切を支辨

◇發著　規定發著驛は南大門、龍山、仁川、枂峴なるも亦途中驛乗降の便あり

◇申込　申込所は京城日報社探凉會係宛會費十二圓を添へて來る廿五日限り

◇海雲　臺の一日は海水浴、釣船、貝拾ひ温泉入浴及び新鮮なる魚類の提供等

◇東萊　東萊の溫泉は定評あり猶ほ三十日正午よりは會員慰勞の園遊會開催

◇歡迎　地方官民諸氏の歡迎と又兩日共釜山藝妓、東萊妓生多數の接待あり

主催　京城日報社　毎日申報社

不正魚肥に就て

朝鮮より移出に係る不正魚肥料は從に下關物品問屋組合に於て取扱はざることを申合せたるも一部奸商は下關問屋の手を經ず直接當用地へ輸送を爲すものありて却つて下關商人の打擊を蒙むること少なからざるより之れが根本的取締方法を講ずる必要あるを以て下關商業會議所は之が爲め特に臨時總會を開き協議の結果出貨地に於て嚴重取締を爲す方法を設けられんことを稟請すると同時に農商務大臣にも同樣の稟請を爲すべく尙山口、廣島、三重等の關係縣知事に取締方勵行を要望し且つ釜山及び四日市兩商業會議所に對し意見徵底方を通牒せり

渚の砂

▲故渡部未亡人の出發　平壤女子高等普通學校長渡部春藏氏未亡人は十六日午後一時三十分列車にて亡人の遺骨を携へて内地に向ひたり……渡部氏の郷里なる佐渡に埋葬式を營み更に東京に居所を定むるに決定したる由なり當日停車場には女子高等普通學校生徒百九十名整列し一般送者は工藤第一部長、道當局各學校長愛國婦人會新聞記者等なりしが女子高等普通學校生徒の内には多數流涕して別れを惜しむものありしが見るものをして轉た暗涙を催さしめたり（平壤）

▲大膽な小僧　熊本市外大江村……

▲怪祇は元刑事　岐阜縣武儀郡小金田村……に相手がなく閉口してゐる所へ通行人に寂附けやうとするも……

▲井底から噴火　静岡縣富士郡吉原町……生れ元兵庫縣刑事巡査後藤……二日自宅名古屋西區愛知銀行本店の懸口で……の隙を窺つて現金一萬圓を掠奪つたが追跡の警官に取押へられた……木……太郎が自邸内に大庭園を新設しやうと人夫に掘拔井戸を掘鑿させてゐると去る十一日井戸の底から俄かに噴火して地上三尺も火焔が出たので其の火口に鐵瓶を据ゑて見ると二十分間で湯が沸いたさうな

七月二十日　三碧

酉　六月二日　癸亥　本命四緑　暦定先勝

▲四緑　上品なる僞事有日新事見合北方は吉……▲五黄　力負のする事……▲六白　……▲七赤　……▲八白　大掴みの事有日新事……▲九紫　……▲一白　……▲二黒　……▲三碧　……

か　徳『治兵衛が出立の夜私と同道いたし其の夜治兵衛方に泊りましたが夫れ限り何處へ參りましたか今以て歸りません　忠『それは怪しい多分治兵衛が金子を持つて出立いたすを知つて居つたのであらうな　徳『それは知つて居りました　忠『然て見ると其の東馬と申す者が先廻りをして治兵衛を殺し金を取つて逐電いたしたに相違ない　徳『ヘヱ私も然うでは無いかと思つて居りました　忠『その東馬

明君道中記

第二百十席　田邊南龍口演

石川忠太夫が一統に對ひ何か村内に知らぬ人でも入つたことは無いかと尋ねた時に、徳右衛門進み出　徳『恐れながら申上げます、手前共に武家が一人逗留をして居りました　忠『何で其方の宅に居つたのだ　徳『二月ばかり前のこと其の侍が私方へ參つて宿の無心をいたします故、雨は降るし氣の毒と存じて泊めて遣はしました　忠『何處の者で名は何と申す　徳『久留米の浪人で吉永東馬と申して諸國を劍術の修行をいたして歩く者でございます　忠『其者は未だ居るか……と申す者は此方に於て精々取調べて遣はすによつて左樣心得よ　徳『有難う存じます』治兵衛の死骸は徳右衛門が引取りまして懇に葬り遣はしました、郡奉行の方では吉永東馬を詮索いたして居りまするが一向に知れません、此方は吉永東馬眈川堤で治兵衛夫婦を殺し百五十餘兩の金を取つて其儘逃出したが、素より放蕩者故宿々にて飯盛なぞを買つて金子は遣ひ果してしまひ、備前の岡山から巡り〳〵つて參りましたのが大阪より京都でございます、一日宿を出て京地を見物する、恰度本願寺の前まで參りますと向ふより來る一人の老僧吉永東馬の姿を見て足を止め　僧『若し〳〵其處へお出になつたは吉永先生ではございませんか』と云はれて東馬は吃驚した傷有つ身とて誰かと見てホツと安心をした、是は故郷久留米に居つた節懇意にいたしたる大月和尚でございます　東『イヤ是は大月和尚であつたか、不思議な處で過ふものだ　大『先生は京地を見物にでもお出になりましたか　東『別に見物といふ譯では無いが諸方を廻つて此の京都へ參つた　大『愚僧は只今では當所下岡崎法山寺の住職となつて居りますから愚僧方へ來てお泊りなされたら宜しからう　東『それは千萬忝ない、さして參る處も無いので　大『決して御遠慮なくお出なさい』と東馬を伴れて法山寺へ歸つて參りましたが、寺のこと故精進料理で酒を馳走いたし其の夜は寢んだが、素より懇意の仲とて快く世話をいたす、東馬も此寺に暫く厄介になつて居ります、一日風呂敷包を背負た商人體の男が參りまして奥へ通つて大月和尚と碁を圍んで居ります、東馬は傍で見て居ると和尚より此の町人の方が幾分か上手と見ゑて和尚は負けさうになつて頭から煙を出して呻吟つて居る　東『和尚そんな賤な手をするから負けるのだ、其處に構はず此方へ一目入れなさい　大『大きにお世話です、何處へ入れやうと愚僧の勝手助言をしては可けません　東『餘り平凡過ぎて見て居られない　大『見て居られなければ彼方へお出なさい』眞赤になつて怒つたがとう〳〵其の碁は負けてしまつた、和尚は笑ひ出して　大『イヤ何うしてもお前には敵はないさ、アお茶をお喫り　町『有難うございます　大『彼の先生此の人は道具屋渡世で芭蕉屋庄右衛門といふ男で、始終愚僧の許へ參るのだが鳥渡近附きをして下さい　東『ハヽア左樣か、拙者は吉永東馬と申す者』と互ひに挨拶をいたしました

同徳子、同容子、同多門、三橋左鉄、朴吉雄、木村主一郎、同文子、高周錫、朴斗深、中川澄道、中村よしみ、同すみ、森たつ、同よし、小野吉市、酒尾虎助、瀬戸愛助、中野盛一郎、角岡李治、玉井信之師、高橋軍平、山本利雄、十一代、松本光二郎、山下貞一、加藤

十七日午後九時十五分釜山入港壹岐丸　一、二等客　一等（一名英國人）二等十三名、今村彦助、東野與左衛門、趙學子、……保權永、……木崎貞與、佐藤一郎

▲京城温度　七月十八日正午　京城……　前日……

★サッポロビヤホール　カフエーエビス　本町二丁目　電話四一三番

百演藝案内

京城壽町　壽座　電話七五八番　當地お名殘興行七月十六日より向ふ五日間日延なし　世界的松旭齋天一師出演　外六十名……

本町五丁目　稻荷座　竹川馬生、原晴夢、桃中軒富士右衛門三座長大合同特別大興行　當七月十六日午後六時開演五日間限り　○荒木武勇傳（原辰己）○玄海の浮雲（廣澤虎光）○柳生旅日記（藤川炙春）○義烈百傑（原晴夢）○寛永御前仕合（桃中軒富士右衛門）○佐倉宗五郎（竹川馬生）……

明治町　浪花館　電話二六〇番　當る七月十六、十七、十八の三日間　▲聯合素人淨瑠璃大會　○太功記十段目　○阿波鳴戸順禮歌の段　○御所櫻三段目　○四谷怪談伊左衛門内　○蝶花形八ツ目　……○先代萩御殿の段……

櫻井町　大正館　電話八七三　日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店　……『追疑砲彈』……『武士と金貸し』……

京城壽町　壽館　電話一〇九〇　……二代目桃中軒雲右衛門一行……

京城府明治町二ノ三二（元實業會社跡）　花柳病皮膚病　須古醫院　電話二二〇一番

早川演藝部直營　有樂館　電話（局上）四九七番（局下）二〇五番……

黄金館　電話二六三七・六五二　大陸色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店……

現今の御婦人全體の要求にぴつたり適つた新化粧料!!

白扇倒懸東海天

▲此頃の婦人方

は一般にお化粧が上手で大概は極く自然な、地からの色のやうな、極めて感じのよい美しいお化粧をして居られますが併し中には未だ相變らず舊式の不完全なお化粧をして居られる方がありますのは美容上、衛生上、誠に遺憾な事であります

▲舊式のお化粧

ですと、一旦白粉を附けて洗落して復た附けるといふ様な手數を懸けながら、平生色の黒い方は白粉がどす黒く見ね、厚く附ければ白ペンキの様になり、薄くすればムラになつたり見苦しい色になつたりするばかりで、ほんとうに美しいお化粧が出來ませんので、毎もお化粧といふと大變な苦勞をなさるのですが、でも然ういふ方でも一度

▲專門學者の手

で創製されて、今非常な人氣になつてゐる白色美顔水でお化粧して御覧なさいまし。それこそ其麿方にも上品な、ムラ等の無い、生れつき色の白い様な、何とも言へぬ美しいお化粧が出來、それが赤顔る勞なく氣持よく出來るのです。此頃の

▲お化粧上手と

言はれる方々は皆この白色美顔水をお用ひになるのであの様にお化粧が出來るのです。白色美顔水は日本唯一の化粧品研究所たる桃谷研究試驗所の二博士三學士の研究で創製されたもので普通の水白粉のやうに水と白粉とを混ぜた權なものでは無く

▲新に發見した

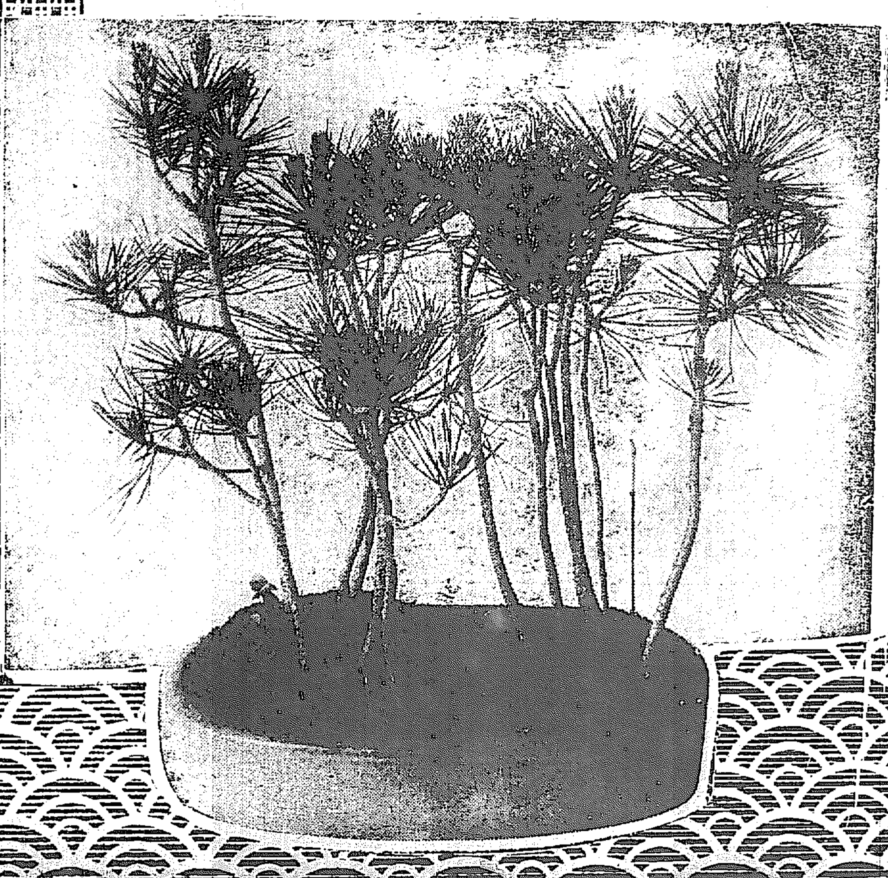
從來の化粧品に使はれた事の無い、美容上の効果の最も強い美容液と、數種の貴重な原料を含む美容液とを以て、或特種の白粉を溶解して製したものでありますから、薄化粧料と美容料との作用を完全に兼備へて、少しも飾とらしくなく、活々した光澤、生れつきのやうな色、誠に氣品のあるほんとうに美しいお化粧が出來ると共に、續けて使へば次第に生地まで美しくなる作用のある、眞に完全な新しい薄化粧料なのです。ですから此品は同じ試驗所製の美顔白粉、美顔ユーマー美顔水と共に

▲各宮家御用品

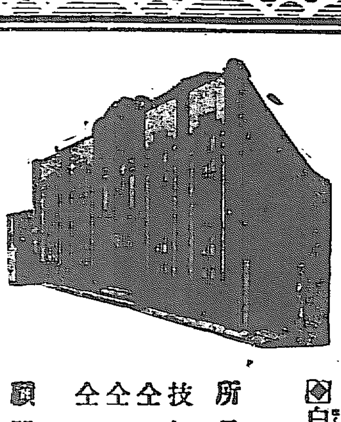
として畏き方々の御間にも御賞用を賜つて居ります。今東京で高貴方の御信用の厚い美容術大家マリールウキズ嬢が此品を高貴方に推薦せられたのも、嚴密な御試驗の結果、是等の効果を認められたからで、今や白色美顔水の人氣は益々高く日本一の薄化粧料として、何處へ行ても

▲第一位の賣行

を示してゐます。此頃の婦人方で此品を御存知なき方は御座いますまいが、若し未だお用ひのなき方は、今の中早くお試しになつて、學者の發見がどれ程完全なものであるか御實驗なさいまし。お化粧が何うも思ふやうに行かぬなどいふ御歎きは忽ち夢の様にお忘になつて終ひます



大阪　桃谷順天館　東京



白色美顔水を創製したる
桃谷研究試驗所

所長　藥學士　桃谷幹次郎
技師　理學士　西澤勇志智
仝　醫學士　米倉昌達
仝　千葉藥學士　小磯勝次郎
仝　仝藥學士　齋藤鋭助
顧問　藥學博士　丹波敬三氏
　　　醫學博士　山本淳二氏

京城日報

第三版

京城日報
支那統一の前途（六）
支那の統一（續）

支那にして統一せずんば、復辟するも亂、復辟せざるも亂、共和と爲るも亂、共和と爲らざるも亂。古人云ふ『盲人騎瞎馬、夜半臨深池』と、是れ千古險語の冠たり。而して之を支那の現狀に觀るに、其の險象、之に突過するものあるにあらずや。古往今來、國家統一の大業は、國民の覺醒、卽ち國民的精神の勃興に待たざるは無しと雖も、亦未だ嘗て國民を代表せる中心的人物の力に藉らずんばあらず。故にウヰクトルエマニユール帝あり、カブールあり、ガリバルヂーありて伊太利統一の業成り、ウヰルヘルム帝あり、ビスマークあり、モルトケありて獨逸聯邦統一の業成り、明治天皇あり、西郷南洲あり、大久保甲東あり、木戸松菊ありて、維新中興の業成る。天下の盛衰興亡は、勢なりと云ふと雖も、其勢を制するものは、其人に在らざる可からず。

支那統一の業は、四億民族の覺醒運動に待たざる可からざるや、固より其所なりと雖も、他面に於ては、中心的人物あるに非ざれば、其の成功を望む可からず。必らずや、秦皇、漢武、李世民、忽必烈の如き秦皇、漢武、李世民、忽必烈其人ありて、千古の猛斷を揮ひ、千百年因襲の病毒を洗滌し、始めて天下の耳目を一新し、國民の方嚮を一轉することを得べく、支那統一の業、始めて其緒を著くるを得べき也。

然りと雖も、秦皇や、漢武や、李世民や、忽必烈や、皆是れ百代の一人。之を今日に起す可からず。康有爲ありと雖も、老學究のみ。孫文ありと雖も、論客のみ。徐世昌は謹厚の儒臣。張勳は一介の武辨。段祺瑞は經綸の器にあらず。岑春煊は器局褊狹。馮國璋は豚犬兒のみ。餘子碌々數ふるに足らず。彼等に望むに支那統一の大業を望むは、所謂木に緣りて魚を求むるの類たるを免れざる也。

詩人云ふ『亂竄草莽英雄起』と。支那の革命此の如く、其の分裂、其の動亂、彼が如くにして、而かも草莽の間、終に國民を代表し、時代を代表する英雄の起るを聞かざるは、何ぞや。四百餘州、四億民衆、果して覺醒すること能はざる耶。果して國民的精神を代表する英雄其人なき耶。

四億民衆にして、醉生夢死、國家の何物たるを解せず、徒に蝸牛角上の爭に汲々たる、今日の如くんば、所謂盲人の瞎馬に騎すると同じく、結局手を束ねて、亡國の運命の彼が頭上に墜ち來るを待つの外無けん。岌々乎として危哉とは、眞に現在の支那也。支那の亡國猶恕すべし。然れども、支那の亡國は、東邦平和の破壞也。東邦平和の破壞は、其の影響する所のもの、至重也。至大也。而して東邦平和の擔保者たる我が國は、果して何時までも不干涉主義を持し、袖手傍觀し去るを得べき歟。唇齒輔車、離る可からざる利害關係を有する我が帝國は、果して其の成行に一任し、超然たるを得べき歟。之を帝國の使命と其の天職とに照し、東邦大局の前途に想到せば、今日其の當に執らざる可からざる所以のもの、論を俟たずして明か也。

本邦飛行界の缺陷
飛行中尉　武田久郎氏談

歐洲より歸朝の途亞米利加を通過せる武田飛行中尉は既報の如く『佛軍戰線に於ける我飛行家の活動振り』に關し興味ある談話を試みたるが同中尉は更に『本邦飛行界の缺陷』につき語りて曰く

予は此度歐洲戰爭に於ける飛行機の活動に就きて大なる智識を得たると共に我日本に於ける飛行界の狀態に照し大なる缺陷あるを深く信じたり

△我邦の飛行機
なるものは最も幼稚なる時代に於て建造せられたるものゝみにして現時の戰爭場裏には何等効力なきを認るのみならず飛行者の技術の發達に伴ふを得ざるを以て屢々犧牲者を出し國家の損害を増しつゝあるは遺憾に堪へず世人は我邦飛行者の技術進まざるが爲めに度々陷落慘死を爲すものゝ如く信ぜる如くなるも決して然らず陷落の原因は飛行者が智識技術の並步せるに從ひ歐洲先進國に於ける飛行者の技術に做はんと無理なる手腕を試みんとせるに對し之れに伴ふ機體の構造未完全なる點あるより機體と技術の

△平衡を失する
に基因したるものにして世人の誤解を招くは或は飛行機に對する智識の未だ發達せざるに非らずやと思はる予は今回歸朝せば當路の諸官に對して歐洲戰地に於ける飛行の活動及び效果を詳かに語り飛行機の改良及び航空隊の擴張を力說せんと期し居れり我邦の如き飛行機に對する智識並に技術に於て敢て他外國に劣ることなく殊

△進步改良を見
るべきに因り自然之に技術を伴はしむることは困難を感ずべし近時スミス氏我國に來り上下の歡迎を受け彼れに對して金品を贈與し敢て吝むことなしと聞けり我等飛行者に於ても戰時如何なる場合宙返りを爲すことを必要とすることなしとせず之れが乘り方は習はざるべからず今日の如く一期僅かに十數名の養成を爲すが如き狀態にては一朝有事に際し他列國に對比するだけの操縱者を出し得るや否や疑慮に堪へず殊に飛行將校の如きは先づ年齡に於て四十歲を越ゆることは他に於ても之れを避しめ又た自身に於ても厭ふところあるべきを以て飛行者の壽命も決して永きものとなすこと能はず且つ又飛行機も爭一年と

に操縱に於ては最も日本人に適せるあるを以て此點を利して

△國家の缺陷
補はざる可からざ[illegible]飛行機の發達を期せざる可からず[illegible]

△遊戯的に使用
すべく製造せ[illegible]

得し居れるも彼の如き所謂商賣人として只喝采を得んとするが爲めに飛行を爲すものにあらざるを以て未だ之を認めざるが如し彼が乘用の機體の如きは只[illegible]

夏の金剛山
（十四）金剛山下長箭港
丸山晩霞

大小變化の烈しい金剛の景は雄大なるよりも細膩なる[illegible]

[illegible]色彩を呈する、山を出て、長箭に出て一高丘より蓬津岬の方に向つたときは、氣も心も爽快になつた。

誰（16）
布施生譯

次に調べたのは保部氏の長男劉作で、二十二歳と云ふ若さだから容も活潑に、自分は鈴富が大好な事、鈴富が大ては大の莫迦であつた事、鈴富が大外れた事をしやうとは如何しても思へぬ事、鈴富は骨牌遊びをする事は爲るが左程大業なものでは無い事、又鈴富は決して收入以上の生活はして居ない事を述べ更に、姪の栗孃と鈴富とが思合つた仲だといふ事は自分も知つてゐる、鈴富が此頃家に寄附かなくなつたのは多分二人の間に何か紛爭が出來た爲だらうと思ふ旨をも附加へた。

次に取調を受けたのは銀行書記の鷲尾であつた。彼は自分の卑怯から折角鈴富に託かつた手紙を阪に渡したが、其爲鈴富の身に飛んだ事が起りはしないかと思ふと如何にも氣が氣でなかつた、檢事の問に對しては、自分は鈴富の友人である事、自分は鈴富の潔白を信じる事、[illegible]を力說して、保部氏に負はせねばならぬ[illegible]

其外まだ誰々と云ふ者迄調べられた人が七八人もあつた、大した手懸りにはならなかつた、唯一つ鈴富が逃亡の際に[illegible]八島の手から[illegible]大金を備へたと述べた者があつた、これは後日參考になる證言と認められた。

全部の取調が濟むと檢事は阪を迎へにやつた、阪は自分の調べた事を全部檢事に話して仕舞ふのは少し惜しい氣持がする、一部を隱しておく事は[illegible]阪は思ひ切つて自分の[illegible]を押へた一伍一什を檢事に話して同時に其手紙も手渡した、それから鈴富とジプシイ女との一件も詳しく話した。後の取調の結果を加へて全部檢事に話したが、唯鈴富と栗孃との件だけは默つて心一つに藏めておいた。

檢事は聞了ると『どうも鈴富は有罪らしい。』と云つて更に阪に向ひ『君、ジプシイを見逃さないやうに見張つて居て呉れ給へ、多分ジプシイの在處は彼女が知つてゐるだらう、彼女を跡けてゆけば在處は自然分るよ。』阪は得意の色を押隱して『承りました、大丈夫逃しつこはありません。』

翌日檢事はジプシイを調べ更に保部氏を呼びにやつた、召喚した證人の[illegible]書記をも喚問した、そして又保部氏を呼びにやつた、召喚した證人の中で二人だけ出頭しないのがある、一人は鈴富の使であの日中央銀行へ金子を引出しに往つたといふ小使で之は二階から落ちて足を挫き今病院で寢てゐると云ふ、もう一人は八島熊太郎であつた。

しかし此二人が來ないと言つたつて鈴富の有罪を證するには何の妨にもならなかつた、檢事鳩寺氏の手には毎日々々有罪の證據が集つて結局盜難があつた次の週の月曜には檢事はもう如何しても動かぬ證據を手に握つた氣持がした。

日報俳壇
雲の峰（五の日十の日會）

浮碧樓

○峯雲をいろ抜いた草すぐ萎れ　虹華

○舟から下るくるぶしまでの水　なり雲

平句

○廣告塔の時計が止つてゐる雲の峰　鳥堂

○妻病めり瞬間で俺もころぐ雲の峰　目池

○明朝は立たう夜の雲の峰つくる

人氣沸騰す
[illegible]新規に買物漸く多く四錢と押したる[illegible]崩れに新規に買物多く四錢と返し大擡頭を演出し强硬の成行を示したり[illegible]

天候依然として大阪前市品騰り[illegible]

後場大混戰
前日大阪の大暴落に連れて當地も暴落[illegible]

十八日の九月限

進むべき道
（忽再版）
文學博士　南條文雄先生著
唯一の途　徹底的修養
[illegible]
京城本町　大阪屋號

夏秋蠶種發賣
內地製特別蠶種
代價一枚金六十錢
九月末日迄待日出穴
東洋蠶種部
[illegible]

少年世界
八月號の呼物
定價十二錢
博文館
安全第一（深草鋪彥）
飛行爆雷の卷（人劍）
島の寶（巖谷小波）
勇の夕立文の雷鳴（旭見男）
全世界を動かす鍵（涼川博士）
名飛行日記（北尾龜男）
拳骨の血（石黑露雄）

少女世界
人外境の黃金窟（四條英子）
懷かしき友へ（三少女稿）
姉の小舟（巖谷小波）
好子は何處へ（加藤京子）
心さびしく（岩崎史郎）
二島の少女（沼田笠峰）

幼年世界
でんでん太鼓（巖谷小波）
大尉の子（宮崎一雨）
極彩色口繪八頁
兄樣の御病氣（湊京二）
お金ちやんの時（まり子）
イタヅラサン（新井弘城）
大懸賞忠犬探し

幼年画報
お子達の最も喜ぶ繪雜誌
新趣向の繪と噺滿載
附錄幼年『レコード』

主婦之友
有効なる夏の生活法
中流新家庭の生活法
本號の大呼物
八月號出來
定價十七錢
東京家政研究會

國民新聞創刊二十五年記念出版
蘇峰文選
定價金三圓五十錢　郵稅金三十錢
發行所　東京市京橋區日吉町　民友社
賣捌所　京城大和町一丁目　京城日報社代理部

蘇峰學人著銷夏愛誦書目
◇安禪不必須山水。滅却心頭火自涼。
◇今や暑熱大に來る。山川に淸遊して、好書を淸讀する最も可也。若し能はずんば、
◇詩陰風窓の下、天下の快書を快讀して、
◇心身の炎熱を洗ふに若かず。唯一の心理的銷夏法は、只だ淸想と淸讀とに在矣。

大正の青年と帝國の前途
大正政局史論
世界の變局
時務一家言
政治家としての桂公
兩京去留誌
靜思餘錄
天然と人
日曜講壇

獵銃、獵具、新荷着
大倉銃砲火藥店
獵銃註文製作の時期は今!!
東京京橋　振替東京二〇四八九

發行所　京城日報社

◎反獨運動熾烈

墺太利にては獨逸政界の變局に就て重大なる影響現はれ對獨關係の屈從的地位を離脱せんとの運動盛なり(倫敦電報)

◎獨帝退位説疑はし

獨逸皇帝ウイルヘルム二世陛下退位し第六王子ヨヒアム殿下即位せりとの報あるも未だ確報なし(倫敦電報)

◎獨逸外相後任決定

獨逸外務大臣の後任はヘルゲート、フオン、ラシユース男爵に決定せり(紐育電報)

紛糾せる支那政局

▲黎氏邸椿事の眞相
張勳氏とは何等の關係なし

十六日拂曉の黎元洪氏邸の椿事は曹汜國中將の麾下に屬せる衛兵の一名が張勳氏邸陷落の際邸内の金品を掠奪し其の分配に漏れし不平に依り爭論せし結果劍を拔きて暴れ廻り後拳銃を亂射し大佐一名曹長、軍曹各一名を即死せしめ大尉一名を負傷せしめたるものにて時節柄張勳氏の使嗾に出でしやに傳へられたるも何等政治的意味なきものゝ如し(北京特電)

▲國會召集は六箇月後

國務總理段祺瑞氏は今より六箇月後に於て國會を召集す可く内議を遂げたり(北京特電)

▲黎氏日本に靜養せん

黎元洪氏は日本に赴き九州の某温泉地に滯在して病を養ひ今後政治に關係せざらん事を欲し居れるも段祺瑞氏は之を好まず依然北京に留らん事を希望し居れり(北京特電)

▲三千の土匪蜂起す

機關銃を有する三千名の土匪山東省に蜂起し勢猖獗にして形勢重大なり第五師長張樹元氏討伐に向ふべし(北京特電)

◎丁抹公使任免

十八日左の如く任命ありたり(東京特電)

特命全權公使(瑞典駐箚)　内田定槌
丁抹駐箚兼勤被仰付
特命全權公使(和蘭駐箚)　落合謙太郎
丁抹駐箚兼勤被免

◎拓殖委員内容

拓殖局官制と共に拓殖調査委員會官制も發表さるゝ筈なるが右調査委員會は總理大臣に直屬し諮問機關たる可く委員長一名副委員長一名委員二十名にて組織され委員は官民者より選任す可し(東京電報)

◎政變と對支貿易

從來支那の政變は其都度我對支輸出貿易に影響少からざりしが這般の政變は毫も影響する氣配無きが如し就中對支輸出品の大宗たる綿絲布に就て當業者の語る處に依れば米綿は三割方減收の報あるに反し内地綿織は平時の三倍高に達せんとする未曾有の好況にあり政變は何等悲觀材料を齎さず前途益々好況を持續すべし

◎日支聯絡復舊

豫て支那動亂の影響を受け日支聯絡運輸に支障を生じ居りしも各鐵道線路の運輸既に常態に復歸したれば日支聯絡旅客及び手荷物は總て從前の通り取扱ふことゝなりたりと

◎奉天財界近狀
金融市場は繁忙

▲北京の政變　は奉天の市場に影響もあらんかと一般に懸念せられたるも差したる事なく只北京の中國及び交通兩銀行發行に係る大洋票は何れも四五圓方急落したるも之れ影響に過ぎず此間に在つても輸入市迚小洋流通地の當地の事とて一部の場は棉絲布逐日産地高となり當地の市價却て下値に在る奇觀を生じ早耳筋に地場在荷の買收に勉むるあり支那商人側も漸次相場は先高に在るものと見越し何れも思惑買を試み而も常に後高の狀に在りたるを以て一般に收利多く市況は引續き活氣を呈し殊に下旬端午の節句に際したると決濟資金の需用と相俟つて金融は繁忙を告げたり

▲輸出の市場　は特産物界は初旬豆粕の註文入込み相場は高昂の一方と爲り其他雜穀一齊高となりて只さへ輸送困難の際豆粕の内地需要も一段落を告げ支那亦買氣を殺ぎたる等に由り中旬は相場急落し取引著しく減少し雜穀は亦々ながら降雨ありて旱害の懸念稍々薄らぐと共に相場下押しとなり殊に粟は需要地相場不味に陷りために取引殆んど皆無の狀となり端午の節句は取引頗る閑散を呈せり然れども一方古金物獸骨、羊毛、馬皮、甘草及び洗鐵等の輸出は益々旺盛にして取引市場を賑はしたり

▲貨幣市場　を見るに銀塊相場は三十八片に初まり中間には三十九片を突破し遂に昂騰を續けて二十二日三十九片八分の七を報じ氣配尙ほ強硬の際月末には却つて六ポイント安の三十九片二分の一を以て當月を終りたりされど之れ歐洲の需要減退せるものに非ず又亞米利加の供給多きを加へたりとも聞かず唯利喰關係に基づきたる一時的現象に過ぎざるため後氣配は直ちに強硬となり大勢のんとは一般の豫期する所なるが如し之れに反し留紙幣は先月以來漸く百八十留臺を往來しゐたるに當月に入り配給益々軟弱に陷り月初百八十五留より初旬百九十留臺を稱へ中旬には二百留の大關を譯なく超ゆ下旬には二百三十五留に急落し月末には少しく引戻したるも尙ほ二百十六留にして後氣配は依然先安見越となり茲に露國政府は公定相場強制通用を布告するに至れり小洋票は銀高に連れ常に頭舍みの狀にあり月初百五元參角より漸高月末には百二元見當を以て終れり

▲金融繁忙　右の如く貨幣市場の波瀾存外大なるものあり自然當月の金融は例年の夏枯期に似ず繁忙裡に經過し從つて當月末奉天内地側五銀行貸出總額は七百三十一萬圓に上り之れを前月末に比すると三十八萬圓を增加し更に昨年同期の貸出額の百二十二萬圓に比すれば六百零九萬圓の增加となり非常の膨脹なり

◎露國の外國爲替禁止内容

露國の外國爲替禁止に就ては既報せしが更に一説によれば露暦六月十七日乃ち六月三十日公布されし外國爲替禁止案は一時的の措置として外國への爲替取り組み並に外國に在る人及び團體若くば其の露國内に於ける代表者の計算にて留貨の受入並に右受入及び爲替を要する義務を負ふ事を禁ずる趣旨にて之れがために外國貨決濟課を設け商事上以外の支拂ひ及び債務償却のため許容すべき各一人に對する一般的爲替の最高限度を定め並に豫め許可を受くる事なくして一箇月間に一人に對する銀行引受爲替額の限度を定むる事とし尙ほ外國貨に關係を有する取引は總て大藏大臣の定むる表に記載せる金融機關に限り之れを許し其他の個人及び團體には之を禁ずる事とせる趣なりと

◎京畿金融組合現況

大正六年六月末現在調査に依る京畿道管内水原地方金融組合以下二十三組合に於ける現況を聞くに左の如し

▲負債の部

出資金	九萬九千〇八十圓
政府下附金	廿三萬八千七百二十圓
缺損補塡準備金	五萬四千八百二十一圓
特別準備金	五千百二十圓
借入金	三萬七千四百七十二圓
預り金	八百七十七圓六十錢
委託販賣資金及び共同購入前受金	十一圓廿二錢
朝鮮銀行代理店	一千五百廿九圓七錢
雜勘定	五萬一千六百七十圓
利益金	二萬八千二十三圓四十三錢
合計	五十一萬〇一千二百六十九圓五十六錢九厘
純益金	一萬一千百三十七圓七十六錢五厘

▲資産の部

拂込未濟出資金	七萬二千六百四十八圓九十四錢
貸附金	廿七萬三千六百五十五圓七十五錢
委託販賣商品渡金及共同購入金	二百九十九圓二十錢
土地建物其他所有物	四萬四千零三十九圓四十五錢
農工銀行代理及媒介貸付	五萬零四百九圓廿六錢九厘
雜勘定	九百四十三圓九十八錢五厘
預ケ金	十萬一千百六十四圓九十五錢
現金	一萬一千五十二圓四十五錢
損失金	一萬七千六十六圓三十二錢五厘
合計	五十七萬一千二百六十九圓三十五錢九厘
純損金	百八十四圓六十五錢

◎京畿雜穀實收高

京畿道管内に於ける大正五年中粟稗其他諸雜穀類の實收高當局の調査に由れば左の如し

▲粟　一萬六千八百十四町五反步の作付反別に對し十二萬四百四十七石の收穫高あり即ち此の一反當收穫高七斗一升六合なり
▲稗　作付反別二千四百八町九反收穫高一萬九千五百二十石にして一反當り八斗一升の收穫
▲黍　作付反別五百六十六町二反步收穫高四千六百七十一石にして此の一反當收穫高八斗二升五合
▲蜀黍　五千五十七町九反の作付反別に對し三萬八千百八石の收穫あり即ち一反當七斗五升三合の收穫なり
▲玉蜀黍　百四十六町三反の作付反別に對し一千二百三石の收穫あり即ち一反當り八斗二升二合の收穫
▲燕麥　作付反別一千百七十六町四反にして收穫高八千八百十八石一反當七斗五升の收穫也
▲蕎麥　二千五百六十一町九反步の作付反別に對し二萬六百十石の收穫あり即ち一反步當り八斗六升六合の收穫なり

◎約手問題進捗

京城商業會議所に約手の支拂ひを各個人間に於てせず銀行業者の手を經由するに於て相互に於ける取立の手數を省くのみならず銀行に於て割引をなすが故に資金の融通を得る便宜あるを以て夫々全部の約手に對し銀行の手を經由したしとは一般の希望する處なりしが右に關し既報の如く去る十二日京城商業會議所に於て役員會を開き主として該問題に關し凝議せるが其れが爲め會議所にては銀行集會所に交渉する所ありて固より銀行業者側に於ても希望する所なれば數日中に具體的の相談纏り事となりて現はるゝに至るべしと

▲大村書記長談　而して右に就き大村京城會議所書記長の語る處に據れば京城市中に於ける手形發行高は一箇月平均一千萬圓に達せるを以て不日右實行の場合には銀行側に於ても相當の割引をなし例令ば日步三錢の處を二分方引下げて二錢八厘となさば千圓にて二箇月間四圓以上の利得となるを以て一般約手振出人の便利は多大なるべく更に會議所にては支那人商業會議所たる華商總會にも交渉せし所是亦一箇月優に五十萬圓の手形を振出し居る事なれば五大に之れを歡迎し早速之を快諾したる由而して手形の發行に就きて最近各地の額を聞くに東京の九億五千萬圓大阪の八億圓は論外とするも京城と伯仲の間にある下の關門司合同の關門手形交換所に於ける一千九百萬圓にして廣島岡山等は京城より遙かに下りて五百萬圓臺なりと

◎獨逸三黨の決議
對議會附議案件＝戰争の目的に就て

獨逸中央、社會、進步三黨が議會に附すべく決議せる戰爭の目的に關する案件の要旨左の如し(瑞西發其筋著電)

一、獨逸は千九百十五年八月四日の宣言の趣旨を遵守し其の獨立擁護及び領土保全の爲めに戰ふものにして侵略主義の爲めに戰ふものにあらず
二、帝國議會は暴力に依る一切の領土併合を廢し各國民間に妥協的平和及び永續的和協を望ふ上に於て政治上、經濟上及財政上の壓迫を排斥す
三、帝國議會は戰後の經濟的制限を排斥す尙海上の自由を確保する經濟的自由のみ單り國家及び國民の(此の間四字電文不明)關係を維持すべし
四、帝國議會は右の目的を遂する爲め國際私法機關設立に盡力すべし
五、若し敵國諸政府が前記の平和を拒絶し獨逸及び其の同盟國を脅すに於ては獨逸國民は飽迄防戰する決心あり國民皆心を一にせば獨逸は決して敗北するが如きこと無し
六、帝國議會は祖國防禦の爲めに戰ひつゝある人々に對し全國民の永久的感謝の意を表すべし

◎學校組合會議

京城學校組合會議は本月十日前後開催の豫定なりしも組合費戶別割減免の其他調査を要する事項案外多く之に時日を要せし爲め遲延せしが昨今該調査も漸く段落を告げたれば來る二十日午後三時より同會議場に於て會議召集組合費減免に關する件六年度豫算更正の件及び前回宿題となりし教員制服問題及び中學校增設等の建議案等を附議すべしと

◎全北棉作生育良好

(全北)全北道に於ける陸地棉は播下當時雖ち五月中の天候旱魃續きにて發芽不揃ひにて從つて生育も盛んならざりしが先般來の降雨に一時に活氣付き目下の生育極めて良好なりと

◎光州水道着手

光州上水道工事は當初部分的の請負に附するやの說ありたれども斯くては濾過池や配水池等の主要工事其他共粗雜に亙り將來の禍因を胎すの虞なきを保し難きを以て土掘又は材料等の外全然請負に附して直營するに決し既に夫々部分的の工事に著手したりと

◎螢石採取許可

忠淸南道永同郡龍山面に於ける山地には從來螢石の産出ありしが今回京城府旭町川本準作氏の出願に由り右螢石工業用原料として一ケ年五百噸宛大正六年七月より大正十六年六月迄十箇年間合計五千噸の採取其筋より許可ありたりと

◎京奉線一部故障

京奉鐵道灤州站の西方約十五哩なる石山站大陵河水害の爲め不通となりたる旨十七日午後七時龍山鐵道局に入電ありたりと

◎保科技師歸省

總督府技師保科子爵は近く賜暇歸東の筈にして多分來る廿一日頃當地を出發す可しと

◎北洋大學生退京

入京中の天津北洋大學生一行は十七日夜南大門驛發列車に搭乘し奉天に直行したり

人事消息

▲堀池當作氏(大邱驛長)　十八日夜入京不知火へ
▲増田貞八氏(鐵業家)▲柴田氏雄氏(同)　同上鵲尾へ
▲瑞示一氏(農學士)　十七日夜入京同上
▲橋本敬太郎氏(木浦府尹)　十八日朝退京
▲馬上孝太郎氏(學習院教授)　同上
▲藤田鏡公氏、鈴木町會員)　同上
▲寺師正平三氏(浦〇貿易協)　同上
▲早稻田野球團一行　十九日朝退京の筈

▣南言北語▣

黎元洪君も餘程神經過敏になつたと見えてポン〳〵と聞くとスグ逃げ出す▲其れから隱れ場所は公使館と決つて居る▲其うして逃げては怎うだらう▲秦皇島邊には三隻もお迎への軍艦が迷い〳〵子になつて居るのではないか▲神戸の殺人狂の入江三郎は熱いからもとの病院へ歸ると警察で駄々を捏ねて居るが北京の入江三郎は和蘭公使館で收まり返つて居るのか何とも沙汰がない▲が最うソロ〳〵駄々を捏ね始める時分だ▲議會も愈々大團圓で敵も味方も六百六十六圓六十六錢の六づくしの歲費を受取つて大ニコ〳〵▲福井三郎君と澤來太郎君が合作で經文入りの都々逸▲臨時議會の報告すればと云ふ珍なものを製造して居る▲即ち(唄)臨時議會の報告すれば、經文泥棒とやアべら棒とやア社會とやア破壞とやア新米とやア舊米とやアアワイワイとやア靜粛とやア懲罰とやア謝罪とやア前科者とやア(唄)ざつとかようなものである……だ相な▲惡戲も此處迄來れば御念が入つて人を馬鹿にして居る▲野田大塊翁は議會中閣昔きに閉口頓首して居たが其でも二百枚から書いた相なと云へば大した事もないが▲揮毫攻め撃退政策として一回の潤筆料を一圓と決めたが其で九十何圓集つたと▲扨て之を何う使ふのか知友間でも問題になつて居るとの事▲此の大塊翁が閑院式當日貴族院にノソリ〳〵やつて來ると武富時敏君が切りに手を引ツ張り『シヤツが〳〵』と注意する▲大塊翁一向通せず『キヤツとは誰の事だい』と問ひ返す▲武富君呆れて耳に口寄せ『シヤツから肌がハミ出てるよ』『大』▲側で眺めた望月小太郎君早速『大塊は膨らみ過ぎて胸破れ』と駄句ると▲大塊翁姿を直しつゝ『ヨか句タイ、ウワツハツハ……』

◎吉林最近經濟

滿洲吉林に於ける六月中の經濟狀況を見るに同地の主産物として(は)木……は同地市場に聚る木の相當の數に達するも大豆は寧ろ沿線各驛に出廻り長春に向ふもの多しとす。而して……は旱魃續き江水減少の爲め流筏困難の事情ありて今尙ほ奥地出元に殘留せるもの不尠と雖も比較的近距離に在る河上のものは既に流下せ……るに毎年大連營口は勿論遠く奉天迄も入荷を見つゝある北海道材は時局の影響を受け殆んど其影を見ず此外……

▲輸入品の狀況　……續く目下取引及び販賣の季節に在り次に……地市場は商業地と云ふよりは政治地……ぐに砂糖石油燐寸機器類陶磁器紙茶及び……控へ居るを以て其消費力も大なるべか……らざるものあり輸入品は綿糸布に亜……

▲露貨相場暴落……の買氣潜在せるものありて多少の……行を見たるが中旬に入りては一方……動も亦見るべきものなく閑散の裡に越月したりと

◎南洋誘拐者處刑

先年兵……り(大阪時事)

定價　金十錢　金二十錢　金三十錢　金五十錢以上は優美なる寶丹匙を添ふ
寶丹　寶丹錠
東京下谷池之端仲町　本舖　守田治兵衞　振替東京二九八五

是れさへあれば夏の健康は安全第一

主効　○頭痛眩暈○氣附毒消○中暑水傷○下痢腹痛○腹冷吐瀉○食傷疲勞○過飲過食○惡疫豫防○船車酒の醉○日射病其他

模範的懷中藥
守田寶丹

暑い今　家庭に避暑に是非携帶すべきは

京日案内

普通　一回前金五十錢(但し二十字詰一行)　番外　一回前金二十錢(但し二十字詰一行)
▲申込後中途中止の場合は返金致さず ▲六回以上の御申込は特に便宜割引 ▲御照會の節は返信料にあらざれば回答致さず ▲御照會の節は必ず數字の番號を記入ありたし

普通

▼土用うし　免許家傳はりヨマチ子宮門　腦病胃病神經痛脚氣リヨマチ專門　本町三(龜屋横入)電一三二六　狩野　300

◎學資貸費篤志家を求む　相當條件に應ず詳細は御照會を乞ふ　高等學校三部三年在學生　住所姓名在社　299

◎小供二三名入用　十五六歲小學校卒業したる者本人來談ありたし　南大門通二丁目　鐵商南方商店　298

◎店員一名入用　本人來談あれ　京城旭町　川西商店　205

番外

◉獨立門附近土地六百餘坪及地上物廿坪歸國に付至急格安讓る　獨立門東光社裏　丸山　200

古オルガン　ピヤノ　大注文引受　高價買受　京城本町二　ウツボヤ　電二五二七　213

◎くだりはらには　健胃整腸散に限る　京城明治町一　小川溫知堂　201

◎鑛物定量分析　明治町二七六(電話二七七一番)　本町一丁目江戸川横入　田部分析所　291

◎ほねつぎ　一切の治療御依頼に應ず　明治町　柔術道場　206

◎鑛物各種分析　太平町二丁目三二六(電話一八二三)　遠藤醬油店向側入る　松永分析所　272

最新刊

書名	著者	定價
印度及印度人	佐野甚之助	一、五〇
支那語自習完璧	東亞實進社	一、四〇
海外交通史話	辻善之助	二、五〇
禪學質疑解答	原田祖岳	一、一〇
定石くづし	胡桃正見	八〇
此の一手	高橋清致	六〇
野球年鑑	大阪朝日新聞	四〇
笛	岡本米藏	一、〇〇
偉人の逸話	中井修	四五
三坪花園	今村猛雄	五五
道	三浦庭子	八五
光源氏の一生	高須梅溪	六五
祇園双紙	吉井勇	六五
青葉若葉	近松秋江	五五
幡隨院長兵衞	碧瑠璃園	一、三〇
獨歩書翰	獨歩	五五
涙香集 わらわの罪 決鬪	[illegible]	一、二〇
山嶽旅行秘訣	紫陽道人	六五
化粧の卷	水島幸子	一、〇〇
一橋揮話	[illegible]	七〇
日本青年鑑	[illegible]	一、三〇

大阪屋號書店　京城本町一　電話六六〇　振替京城一五七三番

印刷原料和洋紙インキ類暴騰に付據なく印刷代貳割以上値上げ致し候間此段謹告す
京城　印刷同業者組合

父太次兵衞葬送の際は炎暑の際御會葬被成下謹で御禮申上候
七月十八日　增田定吉

…就中砂金銅麻毛皮類之に亞ぐ然れども木材藥煙草を除きては其集散額未だ特筆に値すべきものなく又高粱粟の如…れば自然取引不振なるが▲木材の取引 は相當に盛況を呈し居れり今之を略記せんに本年…例年の數に比し甚しき遜色を見ず反之吉林材の強敵たる北蒲材は輸送不充分の爲め…市場品薄を告げ加ふ…復意の如くならざる等の事情により各地に於ける吉林材の需要額頗る多く爲めに…なる商況を持…然れども約十萬の人口を算するの外同地の商圏內に屬する奥地には磐石額穆、樺甸、敦化、延吉等の各縣を…品の首位を占むる綿糸は上旬中稍々地方農繁期に入り豫期の荷動を見ること能はざりしが…一面には問屋筋…地相場の暴騰を告ぐるありて市場の取引者無の姿に陷り賣買兩者共に見送りの中に經過せるを以て…

◉恁んな景氣は他では見られまい
咸南の利源に內地投資家の著目
菱田咸南第一部長談

◇働いてゐさへすれば自然幸福は求めずして來る◇

咸南地方も九月末頃になると咸興、永興間の自動車が通ふ樣になつて、十三里を三時間で行く事が出來る、即ち朝九時南大門を出發した旅客は元山著後一時間にして永興に出で其れより夕景に永興を出發して其の晩の九時頃には咸興へ著く事が出來る

♣昨今咸興の發展は 著しきもので既に內地人二千七百十三名、鮮人一萬六千六百五十八名、支那人五十一名、合計一萬九千四百三十二名の盛りな都會となつた。それに昨今兵營及び附屬工事（六十五萬圓）が重なるものとし其他電燈會社、咸興鐵道の延長工事で、勞働者の入込むものや又例の探鑛熱で落れ込む者其他それ在日常に出稼ぎに來る鮮人杯で一二年前の咸興と今日の咸興を比較すると殆ど隔世の感がする。それに鐵道は敷地の買收を終つたから愈々起工に著手するも近々の中であらう。勞々昨今の咸南地方は

♣南鮮地方の利源も モウ徽が生へたとあつて、內地投資家が非常に著目してゐる。此の間李完用伯も何か土地を買求めた樣であるし、それや是れやで何だか贔負目かは知らないが、南鮮の繁昌の樣を此方へ取りさうに見えて來たのは、マア共に喜んで呉れ給へ。何しろ米許りでも三萬三百町步の大平野に粗笨な耕作を施してさへ二百萬圓の收益が上がる位だから、之に充分の施肥を加へて、進步した耕作法を採らしめたら

♣僅に三百萬圓以上 の產穀は確かであらうと思ふ。併し昨今の樣に物價が高くつては、小作人だとか勞働者だとかは中流以上の景氣が好い割に收入の尠ないのは可愛相であるが、是れとて働きさへすれば、比較的安い乍らも仕事の口は幾らでもあるから、勤勉と儉約さへすれば所謂る正直の首に神宿るで、働いてゐさへすれば自然幸福は求めずして來るのである。それが證據には、例の久原や三井の炭鑛に働いてゐる鮮人夫の如きは、其以前所持金と云へば

♣倒さに振るつても 葉錢が一つか二つ出るのが關の山であつたのが此頃はドウして〳〵物を買ふのに五圓紙幣、十圓紙幣で剩を取るといふ始末である本年咸南地方は繭が好かつた。此地方の繭は京畿道產の繭の樣に大粒ではないが、決してアア〳〵する樣な事がないので內地製糸家に著目せられ、直接山梨縣から特に咸南の繭のみを仕入れに來てゐる商人がある。其の商人は餘程咸南の繭に惚込んだと見えて、外の商人と入札の場合最高價で他へ落札すると、其の値以上に出すから此方へ出て渡せといふ掛合で納める杯、今までは出したくつても出なかつた繭が

♣咸南の特產として 市へ出る樣になつたのは喜ぶべき事である。此の間德元郡の出興に當る豐上、豐下兩面から四千圓許りの繭が出て驚いた事がある。其時郡守の李殿華氏は市日に面民の重なるものを召集して、兎に角今迄は這んな不時の利得は無かつたのであるが、諸君が反對したのにも拘はらず奬勵して見た所が意外の利益を得たのはお互ひに嬉しい事である、故に此の賣拂金を無駄にせぬものと思つて、牛又は家畜の類を買ふとか乃至勸農貯金として積立つるかして

♣生產的に此の金を 活用したら何うであるかと訓戒した所が、一同尤もの仰せなりとあつて御座に市日なるを幸ひ、牛十六頭と豚や鷄の類多數を買込んで歸つたといふが是等は誠に聞ても心持ちの好い話ではない歟。それから道當局に於ては桑も成可く山桑を利用し、肥料も金肥に依らず有合せの廢棄物を用ゐる樣になし、更に養蠶とても電氣仕掛の如き大袈裟な事をせず

♣分に應じた程度で 徐々に行らせる方針である。米の如きは併合前迄即ち一年八萬石內外の產額であつたのが、今日では三萬三千町步の米田に出來る米が三十萬石といふに至つては著しい進展であらう。漁業は例の明太魚であるが、本年は昨年より不漁であつたに拘はらず四萬七千六百五十馱の價格が九十五萬四千圓の額に達した。昨年は豐漁であつたに拘はらず、五萬五千八百馱此の價格九十五萬六千圓であつた、是は價段の上つた爲めである。其他漁業の方面は數年來獲れなかつた鯖が五月末より六月末にかけて二十四萬圓程の水揚があつたは思掛けない利得であつた

♣又た明太魚は利用 が追々廣くなつて乾製のもの〻外、昨年中僅か七萬餘圓の臟腑等の廢棄物が今迄肥料の外に使用の途が無かつたのを今日にては煮て脂肪を取り之れを藥用や器械油にして十萬圓の遺利が出た而かも其絞り滓が肥料になるといふに至つては愈々利用厚生の眞意を發揮したといふべしである

◆水游季節には溺死者が多い
◇子供を持つ家庭は注意せよ◇

熔鐵を飲むやうなとでも云ひたいほど暑さの酷しい今日此頃は譯もなく氷雪や水浴が懷しくなつて暇さへあつたら水泳に趣きたくなつて來るのだが昨今

▽漢江に行く と至る所に大河童小河童の群れが騷ぎ返つてゐる、斯ういふ勇ましい水練の裏には痛ましい死の影に魅られ波に漾ふて果敢ない最後を遂ぐる者がなか〳〵尠くない、洪水が出る家が流れる山が崩れるといふ調子で要するに夏は水で死ぬる者が多く既に兩三日の間に龍山元町三丁目下で元町小學校の生徒が一人と漢芝面豆毛浦で敵神學校の生徒が一人游泳中

▽何れも溺死 した之れからます〳〵溺死者が殖ゆる時季に這入る、何しろ漢江は朝鮮でも大河の一に數へられてゐる程で其の流域も江原、忠北、京畿の三道に亙つてゐる京城を中心とした其の上下流約三十里に亙る加平、楊州、高陽の三郡に沿うた片側沿岸を管轄してゐる京城分隊で本年六月十二日から七月十五日迄約一箇月に屍體を檢視した漢江の溺死者は皆朝鮮人で男女

▽合計十二名 に達して每日其の始末に忙殺されてゐる尤も此の內二名だけは自殺の溺死者であるが他は全く過失から悲慘な最後を遂げたもので、而も大部分は游泳中溺れたものであるといふ、一體に水に祟られ易い沿岸部落の者は水に對して何等の恐れを抱いて居らず殊に朝鮮人は昔から風呂がない爲め河で身體を洗ふ習慣となつてゐるから平氣で水中に飛び込むものだから

▽思はぬ不覺 を取る事がある、それに鮮人は動作に敏捷を缺いでゐる爲め急變に遭遇した際機轉が利かぬため溺れるやうなことも尠くない、昨年中は京城分隊の管內のみで漢江中に四十餘名の溺死者があつた是等の中には冬の氷期の顚覆から溺死したものも幾分含まつてゐるが其多くは夏季の出來事である或は酒に泥醉して河に轉け込み、淺い所を涉つてゐる間

▽深水に淺ひ 込まれる女が河岸で洗濯中誤つて墜落したもの漁獵に從事中流されたものと言つたやうな所謂過失から一命を失つた者が多く、中には嫉妬、病苦、生活難等で覺悟の投身自殺を遂げたものもある、投身者も夏が最も多いといふのが可笑な現象である茲に京城分隊所轄の漢江一部だけの事實であるが更に上流地方なる江原忠北兩道から漢江が臨津江と合流して江華島を向ふに見て外海に注ぐ迄の

▽全流域に於 ける年々の溺死者は蓋し少からぬ數に達するであらう、之れは要するに全く注意の足らぬ所から貴い命を失ふ事になる譯だ盛夏七八月の候は水といふものに對して一般家庭の最も警戒を要する所である

♣米國陸軍將校及び家族一行通過

天津駐屯の米國陸軍將校五十三名及び家族二十四名計七十七名の一行は同地より十八日午前八時南大門著列車にて京城を通過下の關に直行したるが一行は下の關より同國軍艦にて馬尼剌に向ふ筈なりと

◉激流を冒して 筏夫二名を救ふ

忠北忠州郡東良面龍橋里趙正安（三三）朴守玉（三五）の兩名は同面早浦里材木商木谷某の松丸太を筏に組み南漢江を京城に向け流下する途中七月五日京畿道楊州郡瓦阜面鳥安里孫子島に差蒐りたる際折柄一丈五尺の增水に襲はれ筏は岩角に衝突して破碎され丸太に取縋り激流に打たれ瀕死の狀態に陷り居るを目擊したる鳥安里の金敬信、崔建享の兩名は小舟に打乘り件の激流を冒して辛くも兩名を救助し應急手當を施して蘇生せしめたるより此の程兩名は其筋より表彰されたり

◉一家三名懲役

若草町の賍物故買商

去る五月中京城本町警察署の手に檢擧されたる大阪市北區北の町當時京城若草町居住吉林松藏（四八）は前科二犯あるより娘らくの婿養子として入家せしめ居る靜岡縣駿東郡大岡村生れの中村定助（三〇）の名義にて古物商を營み松藏妻ゐいと一家三名共謀して昨年十二月以降鮮人不良少年等を手飼ひにして金基昌外數名が窃取し來りたる價格七十餘圓の金指輪を初め四十點に買取りたるを手初めに同樣手段にて前後三十數回に亙り賍物を專門に故買したる一件は此程京城地方法院に於て松藏は懲役一年六箇月妻ゐいは同三箇月養子定助は同八箇月の處分となれり

と共に萬一を警戒中なりと

◉妻女の投身

小姑に虐待されて

香川縣一宮村小學校教師堀某妻とよ（二二）は小姑に虐待され十六日高松神戶間航海中の電信丸より投身して死せり（大阪特電）

◉重石鑛區賣渡

爭議ある忠北堤川郡…四萬九千圓

忠北堤川郡道田月岳里兩重石鑛區は昨年四月中淺野總一郎大倉喜八郎阪東勘五郎內田良平趙秉鎬尹澤榮諸氏及び藤田組其他の三十餘名の競願者ありたるが其後當局者審議の結果鑛區圖面の不備其他に依り失格せるもの多く結局二十六名の同資格者を生じたれば行政處分を以て之等競願者一同に協定を慫慂し代表者一名に許可せるに競願者は孰れも自營せんよりも寧ろ賣山するに如かずと做し竹下康之氏を東上せしめ種々運動せる結果今回臺灣製糖會社重役牧山清砂氏他一名が四萬九千圓を以て前記道田月岳二鑛區を買收することゝなり去る十五日賣買取引を終了し十八日關係者一同は京城ホテルに集合し右四萬九千圓を分配すべしと卽ち問題の兩重石鑛も之れを以て全く解決したるものにして分配金額は一組約七百圓宛となるべしと

◉電車々掌投身

十七日午前七時頃龍山二村洞漢江人道鐵橋小漢江橋上に電車車掌の洋服を脫ぎ棄てあるを發見したるものありて京城憲兵分隊より憲兵出張取調べしに京城電氣會社の電車車掌咸昌錫の著衣と知れたるが同人は目下行衛不明にて多分鐵橋上より身を躍らして漢江の激流に投身したるものならんも屍體は尙ほ發見されず

◉對岸馬賊橫行

對岸臨江縣新民子溝（大栗子溝口の西北約三里）附近を根據とせる滿洲紅鬍下の馬賊團は目下臨江縣望樓（平北中江鎭對岸）及び大栗子溝附近に密偵を放ち富豪家の狀況を探り襲擊を爲さんと企てつゝありとの說專らなる爲め附近の支那人等は兢々として去月二十九日婦人小兒二十名我中江洞口に避難し來れるを以て所轄官憲にては彼等に相當保護を與ふる

◉早大聯合團野球戰

廿一對零にて聯合團敗北

十七日京城に於ける第一回戰に於て十對零にて鐵道軍を一蹴し終れる早大野球部遠征團に對し十八日午後四時廿分より京城實業團俱樂部の聯合の下に試合を開始せり岸（早大）の單審早稻田軍の先攻にて開始京城軍徹頭徹尾不振にて遂に二十一對零にて京城軍の大敗となれり當日のメンバー左の如し

（早大）	（京城）
8 飯田	6 立見
9 中島	9 岩村
7 高松	2 小阪部
2 岡市	4 三瓶
4 矢部	3 佐々木
5 井上	8 田中
6 池田	7 松浦
3 中村	5 澤我
1 橋本	1 長岡

◉警務總長より賞狀

昨年の虎列拉流行當時一般に先んじて盡瘁したる奇特の故を以て左記の諸氏は此程古海警務總長より賞狀を下附されたり

▲京城經路附錦管內、大瀛學、權寧德、洪鎭守成非照、金翊世▲龍山分隊管內、雜賀元勝、平井九十郎、城野澤一郎、林田宇市

◉渡部未亡人出發

既報の如く平壤官立女子高等普通學校長故渡部恭藏氏未亡人辰子は故人の遺骨を携へ平壤より歸東の途次入京中のところ今十九日午前八時三十分南大門驛發列車にて出發すべし

懸賞尋人

一、七里幸一 明治十二年十一月生 大阪府平民 特徵 目玉大なる方 眉濃き方 丈普通
一、明治二十九年九月以降十月五日頃迄臺中縣土木課臨時傭人見習となりしことあり
一、同廳御用受負人岐阜縣生池本（臺敦街梅月樓主人）の扱に係る傭人
一、同年十月八日頃南投廳下埔里社に向つて出發したり
一、其後の消息不明
一、右本人の現住所を突留報知せられたる方には金千圓を呈す
一、又死亡年月日及其場所を的確に通知せられたる方には百圓を呈す
一、其他搜索上の便宜（例へば當時同人と同居せる者の通知）又は其後の消息を的確に通知せられたる方へは金十圓を呈す
一、期限大正六年九月三十日限
通知先は大阪市南區天王寺松ケ鼻町五四七三番 安藤外宛

高橋盛大堂藥局試驗部創製
清腸（セイチョー）
主治 ◎腸加答兒 ◎痢病 ◎霍亂 ◎腸擦下痢 ◎飲食物不消化の泄瀉及び水傷り、寢冷、其他諸病より起る一切の下痢に用ひて大効あり
價 大瓶 貳拾錢 五拾錢 壹圓
本舖 大阪堂島元蜆橋 高橋盛大堂藥局
發賣 同 心齋橋筋博勞町 高橋盛大堂分店
高貴藥配合 最新良劑 くだりどめ

範模 牛乳 ニッソ 石鹼 洗粉
獸醫 場主 肥塚正太
京城蓬萊町四丁目 東亞牧場 電話五二番

自動車運轉手
職業之れ貴に吾人に取りては一生の運命を支配する當面の大問題にして一度其選擇を誤らば後日噬臍の悔あらん刮目せよ
は需要無限前途益々有望なる文明的快職業にして其收入は高等學府の出身者と雖及ばず東京に於ては月收六七十圓多きは百圓以上に達し外國にては二百五十六十圓を普通とす修繕製作技師の之より以上なるは論をまたず子弟を思ふ父兄、既に職業の選擇に迷ひて煩悶せる者…本校は東洋唯一の…通信教授の二科を設け…入學を許可し…規則進呈
東京市京橋區南紺屋町 私立 自動車學校

優等清酒 一鶴
京城永樂町二丁目 發賣元 本莊酒店 電話六五四番 振替京城六二〇番

地方御注文は特に便宜迅速御送付可致候
和洋金物一式
佐藤半次郎商店 京城本町三丁目 電話二四一 振替京城二一三〇番

豫告
◆有名なる新講談
伊藤痴遊師來る
當る廿一日より一週間講演
浪花館

創業明治三十七年
秋種
◎自家採種京城白菜 ◎自家採種開城白菜 ◎支那本場芝罘白菜 ◎支那本場直隷白菜
◎秋播蔬菜類は總て本場原產地優良種子 ◎當園は朝鮮に於ける種苗農具店の元祖
京城勸農園（京城本町三丁目）電話七〇四番 振替京城五六番
定價表進呈

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城 朝鮮銀行
振替貯金口座 京城三三三番
電話 長三三一、長三三二、六一三、一一〇六、一二六〇、一二六一、一六一三
支店 東京、大阪、神戶、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、吉林、哈爾賓、營口、傅家甸、龍井村
出張所
右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

移轉改築治療室設備中の處落成
京城府廳裏通り 稅所齒科醫院 電話三〇六八番
見習看護婦募集

…て南洋に誘拐せし神戶ニッケル商會取締役ホルスタインは十八日大阪控訴院に於て三年の懲役を言渡された

花がたみ

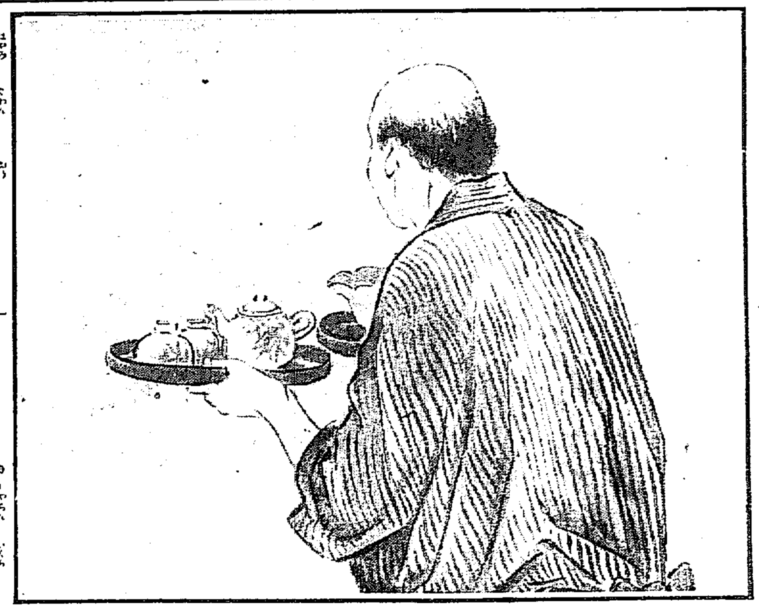
松田竹の島人作

（五九）

田淵は、是非とも早見を、春子の下へ遣らうと思ふから

『君が往つてくれると、頗る都合が可いがね。僕が往けるなら、元來僕の淺慮から起つたことだから、君を勞する迄もなく、僕が往つて來るが、此頃會社が莫迦に忙しくッて、毎晩九時頃でなくッちや歸れんから迚も往つてゐる暇がないのでね。君が往つて、春子を説いてくれると、京子さんが甚麼に喜ぶか知れんし、京子さんの爲めばかりでなく、石島先生の爲めに盡すことにも爲るのだがね。』

『什麼か其事だけは許してくれ給へ、第一僕が出る幕ぢやないからね。』



と早見は頑として應せぬ。

『君を見縊るやうで失敬だが、金の點で往かれんといふのなら、無論金は僕が出すのだからね。』と田淵は懐中から鰐皮の二つ折の紙入を取出し、五圓紙幣四枚を出して、

『失敬だが、これで切望往つてくれ給へな。』と早見の膝の前へ置いた。

鎌倉迄の汽車の賃金は、往復一圓と少しばかりで、今旅費として二十圓を貰へば、多く剩つて、それに由り嚴しく催促を受けてゐる部屋代も拂へて、都合は好い。元來田淵から頼まれて往くのだから、旅費を貰ふことは正當であるけれども、縱令零碎な一錢だからといふて、心の腐つた田淵からは貰ひたくないと、早見は思つたから、其紙幣には手も觸れなかつた。

其處へ嘉七は、茶菓子と茶道具とを持つて、上つて來て、

『切望御茶を召上つて下さいまし』と言つて、二人の前へ置いた。

『什麼か構はないで下さい』と田淵が如才なく言ふと、

『御構ひ申したくも、御構ひが能きませんで』と嘉七は茶を汲いで出す。

『ねえ御主人、早見君に鎌倉迄往つて貰ひたいことがあるので、爰に二十圓出して頼んでるが、早見君が承知してくれないので困つてるのですが、好い工夫はありませんかね。』

『鎌倉まで往くのに二十圓……それは早見さん、這麼旨いことはないぢやありませんか。汽車賃が幾許だか能くは知りませんが、五圓もあつたら大丈夫でせう。然うすると十五圓殘ることに爲りますが、什麼でせう、鎌倉へ往つて御上げに爲つて、殘つたので部屋代を拂つて、御貰ひ申すと、私は大變助かりますがねえ。恥を申さなくッちや分りませんが、實は税金を納めるのが延び〳〵に爲つてゐて、度々督促状が來て、困つてるところですから、然うして御貰ひ申すと、私も田淵さんも都合が好い譯ですがねえ』

嘉七は慾張氣を出して、無遠慮なことを言ふ。

『然うすると御主人、早見君は部屋代を上げずに居るんですか？』

『今月分を未だ御貰ひ申さずにゐるもんですから、困つてるのでございまして……』

早見は、部屋代の未拂ひのことを露骨に言はれるので、腕を拱き、首を俯垂れてゐた。

田淵は茶を啜りながら、

『部屋代は如何程ですか？』

『電燈料が五燭で五十錢、部屋代が五圓、都合五圓五十錢でございまして……』

『然うですか』と田淵は應へて、『ねえ早見君、君の窮乏つてるところへ附け込むやうだが、此處の主人が言はるゝ通り、此二十圓で君が鎌倉へ往つて來て、其剩餘で此處の主人へ拂ふと、君も可いし、又此處の主人も都合が好いのだがねえ。往つてくれ給へな、賴むからねえ』と宛も親切らしく言ふ。

鉛筆！
ーネダンノヤスイエンピツ
ーツカイゴコチヨイエンピツ
ーケヅツテオレナイエンピツ
熊平支店
京城本町二丁目
電話六二四番　振替京城三二三番

皮徽科
皮膚病　徽毒　淋病　膀胱病　生殖器　機能障碍
入院隨意（診察夜九時迄）
日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目（元町口）
佐藤醫院
（電話一一七三番）

□一日一句

青嵐野張りの幕を吹き飛ばす　靜軒

鍛冶の火に闇衝いて來る灯籠哉　浩一郎

蒔きしもの見ゆる畠を裸灯す　瀬村

新刊紹介

▲第三回電氣事業要覽　朝鮮に於ける大正五年上半期の電氣事業を詳細せるものにして圖表、總説、事業概況の三部門に分てり（非賣品朝鮮總督府遞信局）

▲通俗秋蠶飼育法　第一編には蠶室及び器具に關する件を第二編には秋蠶飼育法を數章數十節に分ちて簡明に説述せり（特價二十錢廣島縣深安郡吉津村三八九西上商會）

▲京城商業會議所月報（六月號）　京城に於ける倉庫業、朝鮮麥作狀況、京城金融概況及金融統計、京城に於ける海上運送保險其他如何（十五錢京城商業會議所）

▲ザ、ウワー、ピクトリカル（五號）　英國倫敦ミルフホード、ライン、ザ、イルストレーテッド、ロンドン、ニユース、エンド、スケッチ

▲帝國繪畫新報（六の七）（六錢五厘東京下谷々中清水町一七北協會）

▲婦人週報（三の二八）（四錢五厘東京牛込市ヶ谷田町二の一七共社）

▲東京染種貿易商報（二五九）（五錢東京日本橋本石町四の一七共社）

▲科學世界（七月號）　インヤゴの話（腐井博士）眞の絹と人造の絹（淺山衛平）太陽熱應論（岡石學人）自然力の利用と大山勢（山口博士）其他（二十五錢東京本郷湯島四ノ八）

▲新國民（七月號）　獨逸根性（佐藤中將）論文を書かうとする人々の爲に（本間久雄）冒險看劇秘密の地下室及蒼園晩村牧水等の短歌其他（十五錢東京神田駿河臺袋町一六大日本國民中學會）

▲食物の養生（七月號）　化學的食養長壽論（故石塚左玄）通俗食物論（福士博士）醫師の話（南條白雄）食物の改善（永井博士）其他（十三錢東京牛込市ヶ谷々町四一石塚食療所）

▲實業帝國（七月號）　桧根から『テレピン油を採取せよ、婦人と結婚問題、物價の騰勢を論ず、芳賀博士の日本藝論其他（十一錢東京神田錦町三ノ一七共社）

▲處女文壇（七月號）　創作には齋藤和郎の朝、葛西善藏の淨なんな、素木しづの菖蒲の湯ありハイ子の小唄數十最近文壇鳥瞰其他內容豐富（十五錢東京神田表神保町共社）

▲水產界（七月號）　支那水產界の現在及將來通俗海洋研究、水產と政治、帝國水產上の三大問題、魚市場法實施の急務其他（二十五錢東京赤坂溜池町一大日本水產會）

▲英語研究（七月號）　商賣詞の研究、和文英譯の講義、單語の研究、自由英作文の研究、熟語慣用語句の研究及英詩、小説其他（十二錢東京麹町富士見町六ノ一〇研究社）

▲寫眞タイムス（七月號）　李王殿下御東上記念寫眞數葉を初め時事問題其他の寫眞十數葉依例印刷鮮明用紙精良なり（二十五錢東京々橋新肴町一八明治製版所）

▲山縣五十雄　村上唯吉共著　富の道しるべ　價十五錢　郵税二錢　京城太平通　振替三〇〇番　京城日報社代理部

讀者の領分

▲如何とも仕樣なし　這の斷水に對する係員の放言は大に責めねばならぬ吾人の見る處にては少しの注意にて多大の給水を得る方法あり市中街路の随所の共用水道の開けッ放しの多いのを見給へ何に何時も見廻つて居ると其れだから不可ない僕の前の共用水道を見に來た事は滅多にないチト監督を嚴に仕給へ（市民代表者）

▲阪採偵を無能呼ばはりするは何人で諸君は彼の探索方針は認無しと思ふ彼を無能といふ人は犯人果して他にありとするか諸君は保部頭取を有罪と信じて而も鈴富にも眼を離さゞる阪採偵に贊成する者である（最負）

▲十六日の朝花賣のチヨンガーが私の見て居るとも知らずゴミ箱にすてゝあつた佛樣のお花を拾つて居た他の佛樣にたてたお花らしい自分の方へ來たからその花いくらかと聞けば二錢ヨとは實にアキレました朝鮮人にお花をお買ひになる時はよく調らべて買ねばなりません（生佛）

▲果然停水の痛棒は我等市民の頭上に加へられたり然かも午後四時にては我等少しく高地の住民は漸く半日の給水を受くるのみ此は一個の愚痴として看過すべきも今や惡疫は侵入せり一般市民の豫め寒心に堪へず所謂渇者は飲を選ばずとの諺は適切に夜間今日の我等境遇を豫言せしが如し併し今さら此れを云ふは蛇纏の類ならん止むなく現狀を以て如何にせばよく多く一般市民に給水するかを講究するの外なし依て尤も多量の使用をあぐれば錢湯業ならん給水の如きは此際井戸水を使用せしむる決して不當にあらず其の他動力に使用する類は斷然此れを禁じ一方濫用者にピシ〳〵制裁を加へ少しにても貯水に盡し然る後止むを得ずんば初て一般の市民に望むで節約を以てし夫にても不足せば停水すべし未だ今日は他の講法の餘地あるを信ず（一市民）

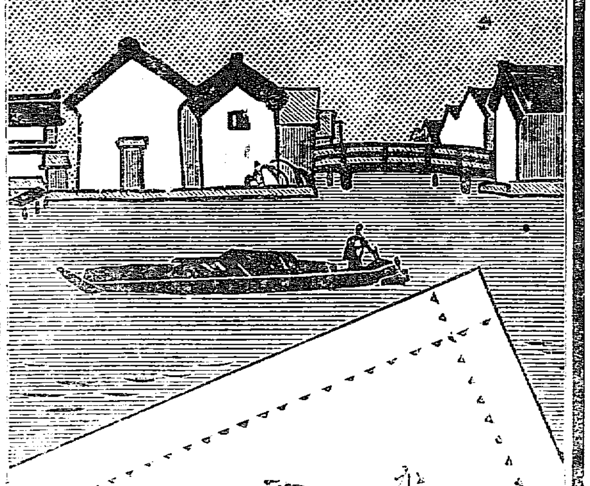
寫眞
寫眞出張撮影
寫眞銅版、亞鉛版
最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と時間の約束を嚴守し御高需に可應候
京城日報社寫眞製版部

學理的に完成して、一點非難のない
ライオン歯磨は
天然の齒には勿論、金齒にも陶齒にも、
善良な効果を奏しますから、健全な齒を持つた若い方にも、
總入齒のお老人達にも、至極適當して居ります。

ライオン歯磨　ライオン石鹸　本舗　小林富次郎　東京本所區外手町　支店　[illegible]
（794—61）

東京帝國大學・醫科大學　三宅博士勸獎
精力を盛にし腦力を强むる靈藥

朝鮮人參精製
ホシ人參丸
主効
藥用人參は古來より不老長壽の靈藥として[illegible]
人參の需要盛なるは[illegible]
定價　[illegible]
星製藥株式會社
各地藥店及び特約店にあり


新しい床しい
かほりの無盡藏を
金鶴香水
申します
ハンカチに一滴
お召物に一滴
毎日欠かさぬ樣

大阪商船仁川出帆

○外航路所屬航路（遠洋航路を除く）[illegible]

- ◎神戸、大阪行　天智丸　七月三日／南部丸　八月廿七日／臺東丸　八月四日　後二時出帆
- ◎南浦、群山、横濱行　濟州丸　七月廿一日後二時出帆
- ◎木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、上關行　安東丸　七月卅一日／安東丸　八月十八日　後二時出帆
- 群山、横濱行　潮州丸　八月三日／福州丸　七月　後二時出帆
- ◎南浦行　南部丸　七月三十日／臺東丸　八月一日　後二時出帆
- ◎鎭南浦、大連行　安東丸　七月廿六日／安東丸　八月十三日　後二時出帆
- ◎南浦、神戸、大阪行　臺東丸　七月十九日後二時出帆
- ◎西湖津新浦城津清津行（元山出帆）　須磨丸　七月廿四日後十二時出
- ◎淸津行（元山出帆）　宮島丸　七月廿八日後十二時出
- ◎上海、基隆、打狗行（大連出帆）　湖北丸　七月廿三日前五時出帆／基隆丸　八月八日後四時出帆

御注意　●印郵便及び貨物便●[illegible]

切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二一番二〇番、五五八番

切符發賣所　內國通運會社京城支店　電話七〇八番

切符發賣所　仁川京城通り　開要旅館　電話二六一番

尼崎汽船仁川出帆

- 群山、木浦、釜山、下關、神戸行
- ○君か代丸　七月廿八日後四時出帆
- ○有吉丸　七月廿三日後四時出帆
- ○大吉丸　七月　日後四時出帆
- ○秀代丸　七月　日後四時出帆
- ○神代丸

仁川海岸通二丁目　電話五十九番　島杉回漕部

朝鮮郵船出帆

本社　電話長一九五二番二二三番

鐵道院局及社外船と貨客連絡運送の便あり詳細は京城南大門驛前　京城貨客取扱店　松原運送店　電話長一、一七〇番

- ○關門より釜山各地經由雄基行（但し×印あるは江原道寄港せず）
  - ×京畿丸　七月廿四日／×忠淸丸　八月五日／成鏡丸　七月十九日／柳川丸　七月廿九日　釜山發
- ○元山より各地經由雄基行
  - 穩城丸　七月二十日／鏡城丸　七月廿四日／三浦丸　七月　日　元山發
- ○浦潮行（元山より城津淸津經由）　平壌丸　七月廿四日　元山發
- ○元山長箭間　成鏡丸　七月廿三日／穩城丸　七月十九日／柳川丸　七月二十日　元山發
- ○釜山元山間　金海丸　七月廿二日釜山發／七月廿六日元山發
- ○鬱陵島行浦項及各地經由　蓋寧丸　七月廿一日　釜山發
- ○浦項行（長生浦方魚津甘浦九龍浦經由）　江陵丸／襄陽丸　毎日　釜山發
- ○濟州島行長承浦麗水巨文島經由　昌平丸　七月十九日　釜山發
- ○麗水行（各地經由）　海州丸／統營丸　毎日　釜山發　巨濟丸　毎日
- ×○木浦麗水間（麗水にて釜山行接續）　天丸／南陽丸　三日目毎に木浦發
- ○木浦より濟州島行各島經由　東廻、公州丸　七月廿二日／西廻、慶興丸　七月廿七日　木浦發
- ○多島海各島行　慶興丸　七月廿二日　木浦發
- ○木浦行（群山其他各地經由）　晋州丸　七月　日／麗水丸　七月廿三日　仁川發
- ○鎭南浦行（海州其他各地經由）　宗信丸　七月二十日　仁川發
- ○海州行（江華島喬桐島經由）　全州丸／錦江丸　毎日　仁川發（但し三十一日は休航）

商況

下關米特電

[illegible]

大阪株式特電

[illegible]

發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
京城太平通一丁目